

## 2. 事業の概要

### (1) 主な教育・研究の概要

#### 神戸親和女子大学

#### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

##### 文学部 国際文化学科

国際文化学科では、本学の課程を修め、卒業要件の単位修得と必修等の条件を満たした上で、(1) 日本語運用能力や、英語・中国語のコミュニケーション能力を高め、異文化間交流を積極的に行う力、(2) 国際的な視野にもとづく批判力、判断力、課題解決力を備え、社会が抱えるさまざまな問題に積極的に関わっていく力、(3) ICT を利用し、国際社会に発信し、新しい情報社会に参画する力、を身につけ、次の①、②に掲げる専門的な資質能力のうち少なくとも1つを修得した者に対し学位を授与します。

- ① 日本語についての正しい知識や運用能力を高め、日本文化の文化的・歴史的背景を、人文学の方法論を用いて判断・理解することで、人や文化に深い関心と理解を持ち、自ら課題を設定・探究することができる。
- ② 国際共通語としての英語の理解力と表現力を高め、国際文化への正しい理解と心的態度の醸成を通じて、地球規模の共生社会に主体的に参加できる。

##### 文学部 心理学科

心理学科では目指すべき人材像として、「心理学的な視点や手法を用いて様々な組織や企業の活動をサポートし発展に貢献できる人材、または心理臨床の知識と技術をもとに、自己及び人々の心身の健康と共感的で円滑な人間関係の構築に貢献できる人材」を掲げる。このような人材を養成するため、本学の課程を修め、卒業要件の単位修得と必修等の条件を満たした上で、次の①～④に掲げるねらいを達成した者に対し学位を授与します。

- ① 科学的、倫理的、合理的方法により人間を理解する力を身につけている。
- ② 心理学の研究方法ならびに、心理学全般の基礎知識を身につけている。
- ③ 心理学の学びを踏まえ、人々の価値観や信念、環境の多様性を理解し、様々な人々と関係性を構築する能力、連携・協働して社会で活躍できる能力を身につけている。
- ④ 心理学的な視点により、様々な組織、企業での活動を支える力（マーケティング力やリーダーシップなど）を身につけている。または、公認心理師や臨床心理士など心の専門家としての知識、技術、倫理観を身につけている。

##### 発達教育学部 児童教育学科

児童教育学科では、本学の課程を修め、卒業要件の単位修得と必修等の条件を満たした上で、子どもの教育と発達に関する専門的知識と技能を修得し、全人的な教養に裏打ちされた専門性と豊かな実践力を身に付けた教育・保育人材として、下記の専門的な能力・資質を身に付けた者に対して学位を授与します。

- ① 使命感と責任感をもって人間愛にあふれた教育・保育を実践することができる。
- ② 教育・保育に関する専門的知識や技能に基づいて主体的・創造的に思考し、判断し、表現することができる。
- ③ 豊かな社会性や人間関係形成力を養い、他者と協働することができる。
- ④ 教育・保育に関する国際的な視野をもって社会に貢献し、地域に根ざして活動することができる。

## 発達教育学部 福祉臨床学科

福祉臨床学科では、本学の課程を修め、卒業要件の単位修得と必修等の条件を満たした上で、社会福祉に関する専門的知識と技能を身に付け、共生の精神を学び、次の①～③に掲げる専門的な資質能力のうち少なくとも1つを修得した者に対し学位を授与します。

- ① 社会福祉原理・思想を学ぶとともに福祉専門職として必要な知識・技術・価値を身につける。
- ② 障がい者から高齢者、子ども等における対人援助の重要な知識や専門的な技能を持つ社会福祉専門職（社会福祉士・保育士）として活動する力を身につける。
- ③ 地域社会における社会活動に積極的に貢献できる力を身につける。

## 発達教育学部 ジュニアスポーツ教育学科

ジュニアスポーツ教育学科では、本学の課程を修め、卒業要件と必修等の条件を満たした上で、子どもの抱える発達と教育の諸問題に対応する専門的知識と技能を有し、スポーツ教育を担う力を身につけ、次の①～③に掲げる専門的な資質能力のうち少なくとも一つを修得した者に対して学位を授与します。

- ① 学校教育、学校体育・スポーツについての専門的知識を有し、学校等での臨地調査・実習を通して、健康・スポーツに関わる教育活動を、企画・実践・探求することができる。
- ② スポーツのパフォーマンス力の向上や心身の健康・発達に関する専門的知識を有し、学校、スポーツクラブ等の訪問、調査、ボランティアを通して、スポーツの指導を、企画・実践・探求することができる。
- ③ スポーツクラブ等の組織経営及び地域スポーツの活性化に関する専門的知識を有し、地域の健康・スポーツ関連機関・施設等の訪問、調査、ボランティアを通して、スポーツクラブや地域の課題を発見するとともにその解決の手立てを企画・実践・探求することができる。

## 教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）

### 共通教育

本学の「共通教育」では、学士課程において総合的判断力をもち主体的に社会に対応できる能力を身につけることを目的とし、「ベシック・スキル」、「リベラルアーツ」、「キャリアデザイン」、「日本語コミュニケーション（留学生）」に区分して科目を配置します。

その際に、学生の成長のための3つの基礎能力として、「英語等運用能力」、「情報活用能力」、「論理的文章構成力」の育成を重視します。

#### （1）教育内容

- ① 4年間の学修の基礎となる共通教育は、幅広い学問分野を展望し、全人的な教養を身につけるための諸科目で構成します。ベシック・スキル、リベラルアーツに関する諸科目から20単位以上を修得します。共通教育科目群の中で「ベシック・スキル」は全学生必修科目です。「基礎演習Ⅰ、Ⅱ」、「健康行動学」、「ICT基礎Ⅰ・Ⅱ」、「総合英語Ⅰ・Ⅱ」、「Interactive EnglishⅠ・Ⅱ」を配します。「基礎演習Ⅰ、Ⅱ」は、初年次教育の中心的な科目です。
- ② 英語教育科目は、上記「ベシック・スキル」に配置するとともに、「リベラルアーツ」の中の「外国語コミュニケーション」にも配置します。
- ③ 「リベラルアーツ」では、「外国語コミュニケーション」「文化の中の人間」「現代社会と市民」「女性をとりまく社会」「生命と自然」「多文化を生きる」「情報リテラシー」の分野に分けて科目を配置し、専門教育を支える幅広い知識を身につけます。
- ④ 「キャリアデザイン」では、職業観・キャリアプランの形成や、採用試験の対策に向けた科目を配置しています。
- ⑤ 「日本語コミュニケーション（留学生）」では、留学生が日本語の基礎を学べる科目を配置します。
- ⑥ 学びの順序性、継続性、発展性を十分に配慮して教育課程を編成します。

## (2) 教育方法

- ① 学修内容や学生の学び方に対応させて、講義、演習、実習という授業形態を適正に配置します。
- ② 学生の主体的、探究的な学びを実現するため、アクティブ・ラーニングの方法を取り入れた授業を展開します。
- ③ 英語教育では、ネイティブスピーカーによるコミュニケーション力の育成を重視した教育を行います。
- ④ キャリアデザインの分野では、採用試験対策、現場で学ぶインターンシップなど、実践的な授業を展開します。

## (3) 教育評価

各科目の学修成果の評価は、シラバスに定める成績評価方法により行います。

### 文学部 国際文化学科

本学科は、卒業認定及び学位授与の基本方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、共通教育科目及び専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等の教育方法を適切に実施し、実施された教育の評価を行います。

## (1) 教育内容

- ① 国際文化学科の専門教育（日本語・日本文化、国際コミュニケーション）に関する科目は、1年次より4年次まで基礎的なものから実践的なものへの発展的な学びとなるよう留意して、系統的、体系的に配置します。
- ② 国際文化学科の必修科目は、基本科目と演習科目によって構成します。基本科目として国際社会と日本文化への視野を広げるために「国際文化概論」「地域文化概論」「国際ボランティア論」「異文化コミュニケーション論」「東アジア文化論」「日本文化史」を配します。また、国際的な共通語である英語の基礎力をつける「TOEIC I・II」、ICT運用力を養う「情報とコミュニケーション」を置きます。さらに、必修の演習科目として、2年次には「国際文化基礎演習」を配し、専門分野の学修への足掛かりとします。3、4年次の「国際文化専門演習」では、自らの専門分野における探究的な学びを深めます。4年次の「卒業研究」は学修・研究の集大成として位置づけます。
- ③ 1年次より、日本語・日本文化コース、国際コミュニケーションコースに分けて専攻分野を見通したカリキュラムを構成します。日本語・日本文化コースは、日本語・日本文化への理解を深める科目を配します。「日本語リーディング&ライティング I・II」では論文作成に向けた力を培い、また「日本文学概論」や「日本語教授法」など国語科教員養成、日本語教育資格取得に必要な科目を置きます。また、国際コミュニケーションコースでは、1年間の英語圏または中国への留学を実施します。併せて留学前、留学後に英語や中国語の高い運用能力を身につける科目を配します。これらは国際文化学科の教育課程における基幹科目として設定します。
- ④ 日本語・日本文化コース、国際コミュニケーションコースの学びを深め、言語運用力や教育技能を磨くために、発展科目を置きます。併せて、発展科目には学科共通科目としてキャリア支援科目群を設置し、観光学やメディア研究、ICTなど特定の産業における専門知識や見識を深めるための科目群を配します。1年次から開講するフィールドスタディ科目では、地域での活動調査を通じて、問題解決力、企画力など、実践力を育成します。
- ⑤ 教育課程編成の一つの特徴として、オンキャンパスの学びとオフキャンパスの学びの融合があります。オフキャンパス教育は、学外での主体的な体験活動、あるいは座学ではない体験的学修を旨とする教育です。各種の学外実習科目、海外研修科目などがこれに属します（各種のボランティア活動など、単位化されていないものも広義のオフキャンパス教育に含まれており、これらの活動に参加することを推奨します）。机上を離れて、大学を離れての主体的な活動による生きた学びを教育課程の一環として展開します。

## (2) 教育方法

- ① 単位修得に必要な学習時間を確保するため、学生が1年間に履修することのできる総単位数を50単位未満に設定します。
- ② 学修内容や学生の学び方に対応させて、講義、演習、実習という授業形態を適正に配置します。
- ③ 学生の主体的、探究的な学びを実現するため、アクティブ・ラーニングの方法を取り入れた授業を展開します。
- ④ 学びの順序性、継続性、発展性を十分に配慮して教育課程を配列します。

- ⑤ 1年次必修科目の「TOEIC I・II」は、A (Advanced)、B (Basic) のグレード別のクラスに分けることで、英語の習熟度に応じた演習を行います。年度初めに TOEIC IP を実施し、その成績により受講クラスを決定します。
- ⑥ 「フィールドスタディ I・II・III」のほか、海外研修科目（「長期留学 I・II」「海外語学研修」「日本語教育実習」など）をオフキャンパスの主要科目として配列します。
- ⑦ 学生の自己達成感、自己効力感を高めるため、また学修成果を可視化するため、「国際文化基礎演習 I・II」「日本語リーディング&ライティング I・II」など一部の科目にふりかえりを行う教育方法を取り入れます。高等学校・中学校教諭一種免許状（国語）の教職科目については、学生自身が自らの学修過程をドキュメント化し、学びの自己確認をしながら学修成果を積み重ねていけるよう、「履修カルテ」を導入します。

### （3）教育評価

- ① 履修科目の成績評価として、GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度を活用します。学生が自らの学習成績を的確に把握し、より適正な履修計画を立てることができるように支援します。
- ② 4年間の学修の総まとめとして「卒業研究」（6単位、必修）を行い、学修成果の総括的評価を行います。

## 発達教育学部 児童教育学科

本学科は、卒業認定及び学位授与の基本方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、共通教育科目及び専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実技、実習等の教育方法を適切に実施し、実施された教育の評価を行います。

### （1）教育内容

- ① 児童教育学分野の専門教育（小学校教育、中学校教育（数学・英語）、幼児教育、保育、特別支援教育）に関する科目は、1年次より4年次まで基礎的なものから実践的なものへの発展的な学びとなるよう留意して、系統的、体系的に配置します。
- ② 児童教育学科の必修科目は、基本科目と演習科目によって構成します。基本科目として「教育原理」、「教職論」、「教育社会学」、「教育心理学」、「特別支援教育入門」、「教育方法・技術論」、「教育相談」、「人権教育」を配します。演習科目として、2年次には「児童教育学基礎演習」を配し、専門分野の学修への足掛かりとします。3、4年次の「児童教育学専門演習」では、自らの専門分野における探究的な学びを深めます。4年次の「卒業研究」は学修・研究の集大成として位置づけます。
- ③ 1年次より、小学校・中学校教育コース、小学校教育プラスコース、幼児教育・保育コースに分けて専攻分野を見通したカリキュラムを構成します。小学校・中学校教育コース、小学校教育プラスコースでは、小学校教育に関する科目を中心とし、中学校数学もしくは中学校英語に関する科目、特別支援教育に関する科目、幼児教育に関する科目のいずれかを加えて配します。幼児教育・保育コースは、幼稚園教育に関する科目及び保育士養成科目に関する科目を配します。これらは児童教育学科の教育課程における基幹科目として設定します。
- ④ 教育課程編成の一つの特徴として、オンキャンパスの学びとオフキャンパスの学びの融合があります。オフキャンパス教育は、学外での主体的な体験活動、あるいは座学ではない体験的学修を旨とする教育です。各種の学外実習科目、海外研修科目などがこれに属します（プレイルームでの保育体験、スクールサポーター体験、各種のボランティア活動など、単位化されていないものも広義のオフキャンパス教育に含まれており、これらの活動に参加することを推奨します）。机上を離れて、大学を離れての主体的な活動による生きた学びを教育課程の一環として展開します。
- ⑤ 発展科目に位置づけられている「海外教育事情」は、原則英語によって行われる授業です。

### （2）教育方法

- ① 単位修得に必要な学習時間を確保するため、学生が1年間に履修することのできる総単位数を50単位未満に設定します。
- ② 学修内容や学生の学び方に対応させて、講義、演習、実技、実習という授業形態を適正に配置します。

- ③ 学生の主体的、探究的な学びを実現するため、アクティブ・ラーニングの方法を取り入れた授業を展開します。
- ④ 学びの順序性、継続性、発展性を十分に配慮して教育課程を配列します。
- ⑤ 海外研修科目（「海外芸術・教育研修」、「海外教育実地研究」、「米国教育研修」など）をオフキャンパスの主要科目として配列します。
- ⑥ 学生の自己達成感、自己効力感を高めるため、また学修成果を可視化するため、ふりかえりを行う教育方法を取り入れます。児童教育学科での学びの中心的位置を占める教職科目については、学生自身が自らの学修過程をドキュメント化し、学びの自己確認をしながら学修成果を積み重ねていけるよう、「履修カルテ」を導入します。

### （３）教育評価

- ① 履修科目の成績評価として、GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度を活用します。学生が自らの学習成績を的確に把握し、より適正な履修計画を立てることができるように支援します。
- ② ４年間の学修の総まとめとして「卒業研究」（６単位、必修）を行い、学修成果の総括的評価を行います。

## 文学部 心理学科

本学科は、卒業認定及び学位授与の基本方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、共通教育科目及び専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習等の教育方法を適切に実施し、実施された教育の評価を行います。

### （１）教育内容

- ① 心理学分野の専門教育に関する科目は、１年次より４年次まで基礎的なもの（概論など）から専門的なものへの発展的な学びとなるよう留意して、系統的、体系的に配置します。
- ② 心理学科の必修科目は、「基本科目」と「演習科目」によって構成されています。基本科目には、心理学の理解において必要となる基礎理論を学ぶ科目（臨床心理学概論、発達心理学概論、感情・人格心理学、学習・言語心理学、社会・集団・家族心理学、心理学的支援法）と基礎的な研究法や統計法を学ぶ科目を配しています（心理学実験・実習Ａ・Ｂ、心理学研究法Ⅰ）。次に演習科目は、ゼミ形式での少人数クラスでの授業を行います。２年次は「心理学基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を配置し、専門分野の学修への足掛かりとなる基礎知識の習得を目指します。３、４年次では「心理学専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を配置し、専任教員の指導の下、学生自らの興味関心に基づき研究を立案、実践し探究的な学びを深めていきます。そして「卒業研究」は４年間の学修・研究の集大成として位置づけています。
- ③ 選択科目は、「基幹科目」、「発展科目」、「学部内共通科目」で構成されています。基幹科目は、ビジネス・社会心理コースと公認心理師・臨床心理士コースに関連する科目で構成されています。ビジネス・社会心理コースでは、心理学の知見をもとに、マーケティングや組織を円滑にする人間関係の構築、自身の感情やストレスをコントロールする方法を学びます。また心理の学びがどのように社会とつながるのかを体験的、具体的に理解し、心理学の実社会での活かし方、応用可能性を学ぶことを目的としています。この目的を実行するために、「広告心理学」、「消費者心理学」、「産業・組織心理学」などといった科目を配しています。公認心理師・臨床心理士コースでは、公認心理師の資格取得を目指すとともに、学生が心理臨床の専門性を学び専門職として道を切り開くための力を身につけていくことを目的としています。この目的を実行するために、「精神疾患とその治療」、「公認心理師の職責」、「心理実習」などといった科目を配しています。また、２つのコースの両方に関連する科目として「発展科目」を設置し、「粧いの心理学」、「家族心理学」などの科目を配しています。「学部内共通科目」では、総合文化学科と心理学科の両学科の学生の進路やキャリア形成の特徴を踏まえた科目を配しています。「デザイン思考論」や「ビジネス心理学」などがこれに属します。
- ④ 教育課程編成の一つの特徴として、オンキャンパスの学びとオフキャンパスの学びの融合があります。学外での主体的な体験活動、あるいは座学ではない体験的学修を旨とする教育です。学外実習科目である「子ども実習」や「海外心理学研修」などがこれに属します（キッ

ズオープンキャンパスへの参加、スクールサポーター体験、各種のボランティア活動など、単位化されていないものも広義のオフキャンパス教育に含まれており、これらの活動に参加することを推奨する)。机上を離れて、大学を離れての主体的な活動による生きた学びを教育課程の一環として展開します。

## (2) 教育方法

- ① 単位修得に必要な学習時間を確保するため、学生が1年間に履修することのできる総単位数を50単位未満に設定します。
- ② 学修内容や学生の学び方に対応させて、講義、演習、実習という授業形態を適正に配置します。
- ③ 学生の主体的、探究的な学びを実現するため、アクティブ・ラーニングの方法を取り入れた授業を展開します。
- ④ 学びの順序性、継続性、発展性を十分に配慮して教育課程を配列します。
- ⑤ 海外研修科目（「海外心理学研修」など）をオフキャンパスの主要科目として配列します。

## (3) 教育評価

- ① 履修科目の成績評価として、GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度を活用します。学生が自らの学習成績を的確に把握し、より適正な履修計画を立てることができるよう支援します。
- ② 4年間の学修の総まとめとして「卒業研究」（6単位、必修）を行い、学修成果の総括的評価を行います。

### 発達教育学部 福祉臨床学科

本学科は、卒業認定及び学位授与の基本方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、共通教育科目及び専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実技、実習等の教育方法を適切に実施し、実施された教育の評価を行います。

## (1) 教育内容

- ① 福祉臨床学科の専門教育（社会福祉、保育）に関する科目は、1年次より4年次まで基礎的なものから実践的なものへの発展的な学びとなるよう留意して、系統的、体系的に配置します。
- ② 福祉臨床学科の必修科目は、基本科目と演習科目によって構成します。基本科目として「社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ」「社会福祉援助技術論Ⅰ・Ⅱ」、「児童福祉論」、「障害福祉論」、「老人福祉論」、「地域福祉論」を配します。演習科目として、2年次には「福祉臨床基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を配し、専門分野の学修への足掛かりとします。3、4年次の「福祉臨床専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」では、自らの専門分野における探究的な学びを深めます。4年次の「卒業研究」は学修・研究の集大成として位置づけます。
- ③ 発達教育学部内共通科目として、「子育てと社会」、「青年心理学」、「福祉と人権」、「スポーツ文化事情」等、各学科の特徴を浮き彫りにした科目を配します。
- ④ 2年次より、専門教育科目群は、「社会福祉」「子ども福祉」の2つのコースに分けて専攻分野を見通したカリキュラムを構成します。社会福祉コースは、社会福祉士国家試験受験資格取得に関する科目を配します。子ども福祉コースは、保育士養成科目を配します。これらは福祉臨床学科の教育課程における基幹科目として設定します。
- ⑤ 専門性を高め深めるための相談援助に関する演習、実習指導、実習、家族援助論、福祉レクレーション論、海外福祉研修、福祉施設実地研修を、福祉臨床学科の教育課程における発展科目として設定します。
- ⑥ 教育課程編成の一つの特徴として、オンキャンパスの学びとオフキャンパスの学びの融合があります。オフキャンパス教育は、学外での主体的な体験活動、あるいは座学ではない体験的学修を旨とする教育です。各種の学外実習科目、海外研修科目などがこれに属します（学内に地域の幼児と母親、高齢者を招き交流をはかるふれあい活動、学外に出かけ障がい者や子ども、地域に働きかけるボランティア活動などを行う地域福祉活動、単位化されていないものも広義のオフキャンパス教育に含まれており、これらの活動に参加することを推奨し

ます)。机上を離れて、大学を離れての主体的な活動による生きた学びを教育課程の一環として展開します。

## (2) 教育方法

- ① 単位修得に必要な学習時間を確保するため、学生が1年間に履修することのできる総単位数を50単位未満に設定します。
- ② 学修内容や学生の学び方に対応させて、講義、演習、実技、実習という授業形態を適正に配置します。
- ③ 学生の主体的、探究的な学びを実現するため、アクティブ・ラーニングの方法を取り入れた授業を展開します。
- ④ 学びの順序性、継続性、発展性を十分に配慮して教育課程を配列します。
- ⑤ 海外研修科目（「海外福祉研修」など）をオフキャンパスの主要科目として配列します。
- ⑥ 学生の自己達成感、自己効力感を高めるため、また学修成果を可視化するため、ふりかえりを行う教育方法を取り入れます。

## (3) 教育評価

- ① 履修科目の成績評価として、GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度を活用します。学生が自らの学習成績を的確に把握し、より適正な履修計画を立てることができるように支援します。
- ② 4年間の学修の総まとめとして「卒業研究」（6単位、必修）を行い、学修成果の総括的評価を行います。

### 発達教育学部 ジュニアスポーツ教育学科

本学科は、卒業認定及び学位授与の基本方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、共通教育科目及び専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実技、実習等の教育方法を適切に実施し、実施された教育の評価を行います。

## (1) 教育内容

- ① ジュニアスポーツ教育学分野の専門教育（身体教育学、スポーツ科学、応用健康科学）に関する科目は、1年次より4年次まで基礎的なものから実践的なものへの発展的な学びとなるよう留意して、系統的、体系的に配置します。
- ② ジュニアスポーツ教育学科の必修科目は、基本科目と演習科目によって構成します。基本科目として「ジュニアスポーツ教育学総論」、「ジュニアスポーツ実践」、「ジュニアスポーツ指導者論」「運動発達心理学」を配します。演習科目として、2年次には「ジュニアスポーツ教育学基礎演習」を配し、専門分野の学修への足掛かりとします。3、4年次の「ジュニアスポーツ教育学専門演習」では、自らの専門分野における探究的な学びを深めます。4年次の「卒業研究」は学修・研究の集大成として位置づけます。
- ③ 1年次より、学校体育・スポーツ教育コース、スポーツ心理・健康福祉コース、生涯スポーツ・マネジメントコースに分けて専攻分野を見通したカリキュラムを構成します。学校体育・スポーツ教育コースは、中学校・高等学校の保健体育教育に関する科目を中心として、体育・スポーツ諸科学に関する科目を配します。スポーツ心理・健康福祉コースは、運動や健康についての心理学に関する科目を中心として、体育・スポーツ諸科学に関する科目を配します。生涯スポーツ・マネジメントコースは、地域スポーツやスポーツの組織・組織運営に関する科目を中心に、体育・スポーツ諸科学に関する科目を配します。これらはジュニアスポーツ教育学科の教育課程における基幹科目として設定されています。
- ④ 教育課程編成の一つの特徴として、オンキャンパスの学びとオフキャンパスの学びの融合があります。オフキャンパス教育は、学外での主体的な体験活動、あるいは座学ではない体験的学修を旨とする教育です。各種の学外実習科目、海外研修科目などがこれに属します（各種のボランティア活動など、単位化されていないものも広義のオフキャンパス教育に含まれており、これらの活動に参加することを推奨します）。机上を離れて、大学を離れての主体的な活動による生きた学びを教育課程の一環として展開します。

## (2) 教育方法

- ① 単位修得に必要な学習時間を確保するため、学生が1年間に履修することのできる総単位数を50単位未満に設定します。
- ② 学修内容や学生の学び方に対応させて、講義、演習、実技、実習という授業形態を適正に配置します。
- ③ 学生の主体的、探究的な学びを実現するため、アクティブ・ラーニングの方法を取り入れた授業を展開します。
- ④ 学びの順序性、継続性、発展性を十分に配慮して教育課程を配列します。
- ⑤ 海外研修科目(「海外スポーツ教育・文化研修」など)をオフキャンパスの主要科目として配列します。
- ⑥ 学生の自己達成感、自己効力感を高めるため、また学修成果を可視化するため、ふりかえりを行う教育方法を取り入れます。ジュニアスポーツ教育学科での学びの中心的位置を占める教職科目については、学生自身が自らの学修過程をドキュメント化し、学びの自己確認をしながら学修成果を積み重ねていけるよう、「履修カルテ」を導入します。

## (3) 教育評価

- ① 履修科目の成績評価として、GPA(グレード・ポイント・アベレージ)制度を活用します。学生が自らの学習成績を的確に把握し、より適正な履修計画を立てることができるよう支援します。
- ② 4年間の学修の総まとめとして「卒業研究」(6単位、必修)を行い、学修成果の総括的評価を行います。

## 入学者の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

### 文学部 国際文化学科

国際文化学科では、日本語運用能力や、英語・中国語のコミュニケーション能力を高め、異文化間交流を積極的に行う力、社会が抱えるさまざまな問題に積極的に関わる力、ICTを利用し、新しい情報社会に参画する力を持った人材を育成することを目的としています。

学生には、「論理的文章構成力」、「英語等運用能力」、「情報活用能力」、の3つの基礎能力を求めます。

そのため、国語科教員や日本語科教員、公務員として、さらには航空業界など様々な民間事業所で活躍したいという強い意志があり、同時に、以下の点を満たしている人に入学して欲しいと考えています。

- ① 「国語」や「英語」の基礎的な学力を身に付けている人。調べ学習やプレゼンテーションに強い関心を持っている人はなおよい。
- ② 部活動などの課外活動に積極的に取り組んでいる人。ボランティア活動などに高い関心を持っている人はなおよい。
- ③ 日本語の力や英語・中国語の力で自身の人生を切り拓こうと考えている人。
- ④ 情報通信技術に関心があり、コミュニケーションの中で活用する力を身に付けたい人。

### 文学部 心理学科

心理学科では、「心理学的な視点や手法を用いて様々な組織や企業の活動をサポートし発展に貢献できる人材、または心理臨床の知識と技術をもとに、自己及び人々の心身の健康と共感的で円滑な人間関係の構築に貢献できる人材」を育成することを目的としています。

心理学は、一般にイメージされるよりもずっと広い領域やテーマを扱います。したがって、学生には、心理学の専門的知識を学修するとともに、柔軟性や広い視野を持ち、様々なことを積極的に学ぶことを求めます。そのため、心理学科では、専門知識を学ぶ前提としての基礎学力をしっかりと身に付けたうえで、将来心理学で学んだ知識や手法で社会に貢献したいという強い意志があり、同時に以下の点を満たしている人に入学してほしいと考えています。

- ① 日々の生活における人の内面や行動に関心を持っている人。
- ② 家庭、教育、組織、企業など様々な活動場面における人の心理に関心を持っている人。
- ③ 人の心身の発達に興味を持ち、悩んでいる人たちに寄り添い、その役に立ちたいと思っている人。



## 教育学部 児童教育学科

児童教育学科では、子どもの教育と発達に関する専門的知識と技能を持った実践力のある人材を育成することを目的としています。

学生には、子ども理解や教育・保育方法に関する理論を学ぶとともに、行事やボランティア活動に参加したり、異文化交流などにも積極的に参加することも求めます。そのため、児童教育学科では、幼稚園・小学校・中学校（数学・英語）、特別支援学校の教員、あるいは保育士になりたいという強い意志があり、同時に、以下の点を満たしている人に入学してほしいと考えています。

- ① 専門的知識を学ぶ前提として、基礎学力を幅広く身につけている人。より得意な分野があればなおよい。
- ② 部活動などの課外活動やボランティア活動などに積極的に取り組んでいる人。  
他者を尊重し、理解し、交流を図ろうとする積極的な姿勢を持っている人。

## 教育学部 スポーツ教育学科

スポーツ教育学科では、子どもの抱える、発達と教育の諸問題に対応する専門的知識と技能を有し、スポーツ教育を担う人材を育成することを目的としています。

学生には、学校体育・スポーツに関すること、スポーツのパフォーマンス力の向上や心身の健康・発達に関すること、スポーツクラブ等の組織経営などに関することを専門的に学ぶことを求めます。また、スポーツ関連施設への訪問やボランティア活動に積極的に参加することを求めます。

そのため、スポーツ教育学科では、将来、教職やスポーツ指導員、生涯学習の現場、あるいはスポーツ産業で活躍したいという強い意志があり、同時に、以下の点を満たしている人に入学してほしいと考えています。

- ① 入学後の学修に必要な基礎学力と、体育における実技能力をしっかりと習得している人。
- ② 子どもの身体や心の成長に合わせたスポーツ教育を理論と実践指導から学びたい人。
- ③ スポーツマネジメントについて、イベント支援やインターンシップへの参加などを通して理論と実践の両面から学びたい人。

## 通信教育部

### 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

通信教育部は「主として通信教育の方法による教育を受ける機会の拡充と、総合的判断力をもち主体的に社会に対応できる人間を育成すること」を目的として開設され、教育課程におけるテキスト並びにスクーリングによる学修と学外での実習、さらには課程外における実践的活動とを総合的に結びつけ、課題解決力や企画構成力を涵養するとともに、コミュニケーション力・表現力を育むことをめざします。

発達教育学部の教育目標は、「豊かな教養と専門的知識をもち、他の人々と協力して人間の発達と教育にかかる課題に取り組み、その解決に持続して努力できる人材、さらにそのような協働の活動においてイニシアティブのとれる人材を育成する。」であり、当該目標に照らして各学科において定められたねらいを達成することを課程修了の要件とします。

また、学位は、各学科の教育目標を達成するために設定された科目を履修し、必要単位を修得した者に授与します。

学科の学位授与の方針は、次のとおりです。

児童教育学科では、本学の課程を修めるために定める必修科目、選択必修科目を含めて必要となる単位数を修得し、卒業要件を満たしたうえで、本学科が掲げる教育目標である「子どもの教育と発達に関する専門的知識と技能をもった実践力のある人材を育成する。」に準拠して、次に挙げる専門的な資質能力を身に付けた者に対し学位を授与します。

- ① 使命感と責任感をもって人間愛にあふれた教育・保育を実践することができる。

- ② 教育・保育に関する専門的知識や技能に基づいて主体的・創造的に思考、判断し、表現することができる。
- ③ 豊かな社会性や人間関係形成力を持ち、他者と協働することができる。
- ④ 教育・保育に関する国際的な視野をもって社会に貢献し、地域に根ざして活動することができる。福祉臨床学科では、本学の課程を修めるために定める必修科目、選択必修科目を含めて必要となる単位数を修得し、卒業要件を満たしたうえで、本学科が掲げる教育目標である「社会福祉に関する専門的知識と技能を持った人材、とりわけ、人々と共生の福祉の心をもった人材を育成する。」に準拠して、次に挙げる専門的な資質能力を身に付けた者に対し学位を授与します。
- ⑤ 社会福祉の原理・思想を理解し、社会福祉専門職として必要な知識・技術・価値を体現することができる。
- ⑥ 子どもから障がい者、高齢者等における対人援助の重要な知識や専門的な技能をもって社会福祉専門職として活動することができる。
- ⑦ 地域社会における社会活動に積極的に貢献することができる。

### 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

通信教育部では、卒業認定及び学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、共通教育科目群及び専門教育科目群を体系的に編成し、通信教育独自の学習方法であるテキスト履修科目と集中講義形式で開講するスクーリング履修科目との適切なバランスの下に、講義、演習、実技、実習等の教育方法を適切に実施し、実施された教育の評価を行います。

通信教育部児童教育学科の教育内容、教育方法、教育評価は次のとおりです。

#### （１）教育内容

- ① 学修の基礎となる共通教育科目群は、幅広い学問分野を展望し、全人的な教養を身につけるためのベイシック・スキル、コモン・センス、総合学習に関する諸科目で構成します。  
なお、共通教育科目群のベイシック・スキルのうち「通信教育入門」は必修科目です。
- ② 児童教育学分野の専門教育（児童教育、幼児教育、保育、特別支援教育）に関する科目は、基礎的なものから実践的なものへの発展的な学びとなるよう留意して、系統的、体系的に配置します。
- ③ 児童教育学科の必修科目は、基本科目と演習科目によって構成します。基本科目には、教育に関する基本的な知見を養う科目、教育という観点から心理学や人間の在り方にアプローチする科目を配します。また、３年次及び４年次に演習科目を配し、自らの専門分野における探究的な学びを深めます。
- ④ 児童教育学科の選択科目は、基幹科目と発展科目によって構成します。また、初等教育学コース、幼児教育学コース、保育学コース、学校心理学・教育学コースに分けて専攻分野を見通したカリキュラムを構成します。初等教育学コースは、小学校教育に関する科目を中心として、幼稚園教育に関する科目を配します。幼児教育学コースは、幼稚園教育に関する科目を中心として、小学校教育に関する科目を配します。保育学コースは、保育士養成科目及び幼稚園教育に関する科目を配します。学校心理学・教育学コースは、児童及び幼児の心理学と教育学に関する科目を中心に配します。
- ⑤ 教育課程編成の一つの特徴として、オンキャンパスの学びとオフキャンパスの学びの融合があります。オフキャンパス教育は、学外での体験的学修や主体的な体験活動を旨とする教育です。各種の学外実習科目がこれに属します。また、日常生活における専攻分野に関連する主体的な活動等も通信教育部の生きた学びの一環です。

#### （２）教育方法

- ① 学修内容や学生の学び方に対応させて、通信教育独自の学習方法であるテキスト履修科目と集中講義形式で開講するスクーリング履修科目により、講義、演習、実技、実習という授業形態を適正に配置します。
- ② 学生の主体的、探究的な学びを実現するため、スクーリング履修科目ではアクティブ・ラーニングの方法を取り入れた授業を展開します。

- ③ テキスト履修科目の主体的な学習により、基本的知識の習得をめざします。また、テキスト履修科目では、教員によるレポート添削、所見の記入及び学生からの「質問票」への回答により対話的学修が可能です。
- ④ 学びの順序性、継続性、発展性を十分に配慮して教育課程を配列します。
- ⑤ 児童教育学科での学びの中心的な位置を占める教職科目については、学生自身が自らの学修過程をドキュメント化し、学びの自己確認をしながら学修成果を積み重ねていけるよう、「履修カルテ」を導入します。

### (3) 教育評価

- ① 各科目の成績評価基準を「学習の手引き」に明示し、その基準に基づいて成績評価を行います。
- ② 成績評価の指標としてGPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度を活用し、学生は自らの学習成果を数値によりの確に把握でき、より適正に学習計画を立てることが可能です。

通信教育部福祉臨床学科の教育内容、教育方法、教育評価は次のとおりです。

#### (1) 教育内容

- ① 学修の基礎となる共通教育科目群は、幅広い学問分野を展望し、全人的な教養を身につけるためのベシク・スキル、コモン・センス、総合学習に関する諸科目で構成します。なお、共通教育科目群のベシク・スキルのうち「通信教育入門」は必修科目です。
- ② 福祉臨床学科の専門教育（社会福祉）に関する科目は、基礎的なものから実践的なものへの発展的な学びとなるよう留意して、系統的、体系的に配置します。
- ③ 福祉臨床学科の必修科目は、基本科目と演習科目によって構成します。基本科目には、社会福祉に必須の専門知識と方法・技術の修得並びに地域の福祉諸問題への対応にかかわる基本的な知見を養うための科目を配します。また、3年次及び4年次に演習科目を配し、自らの専門分野における探究的な学びを深めます。
- ④ 福祉臨床学科の選択科目は、基幹科目と発展科目によって構成します。また、社会福祉士国家試験指定科目を中心に配します。
- ⑤ 教育課程編成の一つの特徴として、オンキャンパスの学びとオフキャンパスの学びの融合があります。オフキャンパス教育は、学外での体験的学修や主体的な体験活動を旨とする教育です。各種の学外実習科目がこれに属します。また、日常生活における専攻分野に関連する主体的な活動等も通信教育部の生きた学びの一環です。

#### (2) 教育方法

- ① 学修内容や学生の学び方に対応させて、通信教育独自の学習方法であるテキスト履修科目と集中講義形式で開講するスクーリング履修科目により、講義、演習、実習という授業形態を適正に配置します。
- ② 学生の主体的、探究的な学びを実現するため、スクーリング履修科目ではアクティブ・ラーニングの方法を取り入れた授業を展開します。
- ③ テキスト履修科目の主体的な学習により、基本的知識の習得をめざします。また、テキスト履修科目では、教員によるレポート添削、所見の記入及び学生からの「質問票」への回答により対話的学修が可能です。
- ④ 学びの順序性、継続性、発展性を十分に配慮して教育課程を配列します。

#### (3) 教育評価

- ① 各科目の成績評価基準を「学習の手引き」に明示し、その基準に基づいて成績評価を行います。
- ② 成績評価の指標としてGPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度を活用し、学生は自らの学習成果を数値によりの確に把握でき、より適正に学習計画を立てることが可能です。

### 入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

通信教育部は、「通信教育の方法による教育を受ける機会の拡充と、総合的判断力をもち主体的に社会に対応できる人間を育成すること」を目的としており、印刷教材等による授業であるテキスト履修科目では自主的自律的に学習すること、面接授業であるスクーリング履修科目では積極的な

動的に受講することを求めます。

そのため、通信教育部では、児童教育または社会福祉を学ぼうとする意欲があり、同時に、以下の点を満たしている人に入学してほしいと考えています。

- ① 専門的知識、技能を学ぶ前提として、入学後の学びに必要となる基礎的教養を幅広くしっかりと身につけている人。
- ② 学習と生活とのバランスを取り、持続的に学ぼうとする強い意志がある人。
- ③ 他者を尊重、理解し協同しようという姿勢を持っている人。

## **大学院 文学研究科 心理臨床学専攻**

### **修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）**

大学院心理臨床学専攻では、本大学院の教育目的を達成するために設定された科目を履修し、基準となる単位数を修得した上で、本専攻が教育目標として掲げる、以下に示す3つの専門的な資質能力を通じて専門的職業に寄与できる者に対し学位を授与します。

- ① 心理臨床に関わる領域あるいはその近接領域に関わる領域の幅広い高度な知識を習得し、活用できる。
- ② 心理臨床実践の経験を豊富にもち、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働等分野で実践できる。
- ③ 研究能力を高め、専門的知識に裏付けられた修士論文を作成できる。

### **教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）**

本心理臨床学専攻では、修了認定・学位授与の基本方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、専門分野の学問を専門的に深く学ぶための専門教育科目群を体系的に編成し、講義、演習、実習等の教育方法を適切に実施し、実施された教育の評価を行います。

#### **（1）教育内容**

- ① 心理臨床に関わる領域あるいはその近接領域に関わる領域の幅広い高度な知識の習得のため、必修科目として「臨床心理学特論Ⅰ・Ⅱ」、「臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）・Ⅱ」、「臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）・Ⅱ」を配します。また、選択必修科目として「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習A）」、「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習B）」、「心理学研究法特論」、「心理学統計法特論」、「神経心理学特論」、「学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）」、「認知行動療法特論（心理支援に関する理論と実践）」、「社会心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）」、「対人行動学特論」、「コミュニティ心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）」、「司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）」、「精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）」、「精神保健学特論（心の健康教育に関する理論と実践）」、「福祉心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）」、「心理療法特論」、「発達臨床心理学特論」、「投映法特論」を配します。
- ② 心理臨床実践の経験を豊富にむつため、必修科目として「臨床心理基礎実習」、「臨床心理実習Ⅱ」、「相談指導Ⅰ・Ⅱ」を配し、学内（心理・教育相談室）及び学外（病院・施設）での実習を数多く取り入れ、事例の発表と検討（ケースカンファレンス）を通して、実践活動の深化を図ります。
- ③ 研究能力を高めるため、必修科目として「特別研究Ⅰ・Ⅱ」、「心理臨床学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」を配し、1年次より集団指導の段階から個別指導へ移行する中で、院生が呈示する研究テーマと研究計画に基づいて、「心理学研究法特論」、「心理学統計法特論」などで習得した専門知識に裏付けられた修士論文の作成を図ります。

## (2) 教育方法

- ① 幅広い専門知識の修得のため、バランスを考え、院生が単位修得に必要な学習時間を確保できるよう必修科目と選択科目を設定します。
- ② 心理臨床の実践力を身に付けるため、臨床心理士及び公認心理師に必要な基本的スキルと態度の体得、さらに心理相談業務の把握と実践的スキルの修得ができるよう実習内容を設定します。
- ③ 研究能力を高めるため、1年次前半の集団指導では卒業論文の発表を通じて、研究における科学性と臨床における個別性との関連性について理解を進め、個別指導では各院生の設定したテーマ・研究方法・データ分析の適切性を検討し、各院生が質の高い修士論文を完成できるよう「特別研究」、「心理臨床学演習」を設定します。

## (3) 教育評価

- ① 履修科目の成績評価として、GPA（グレート・ポイント・アベレージ）制度を活用します。院生が自らの学習成績を的確に把握し、より適正な履修計画を立てることができるよう支援します。
- ② 修士論文の評価は、修士論文ルーブリック評価基準に従い、各評価項目のA評価・B評価・C評価・D評価の程度によって、大学院担当教員の合議の上、決定します。

## 入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

心理臨床学専攻では、学部における教育に関する一般的及び専門的教養の基礎の上に、心理学を教授し、深広な学識と研究能力を養うとともに、心理学に関する高度な専門的知識を有する臨床心理士及び公認心理師の育成を目的としています。

院生には、広汎で多様な専門科目の習得を求めています。また、そのために、基礎学力や一般教養をはじめ、人間に対する強い探究心と深い理解力、豊かな共感性を求めています。

そのため、臨床心理士及び公認心理師になりたいという強い意志があり、同時に、次のような人に入学してほしいと考えています。

- ① 心理学に関する専門的教養を身に付けている人。
- ② 研究に対する積極性と臨床実践への熱意を持った人。
- ③ 臨床心理士及び公認心理師として生涯学習と自己成長に向けて努力する人。

## **大学院 文学研究科 教育学専攻**

## 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大学院教育学専攻では、本大学院の教育目的を達成するために設定された科目を履修し、基準となる単位数を修得した上で、本専攻が教育目標として掲げる、以下に示す3つの専門的な資質能力を通じて専門的職業に寄与できる者に対し学位を授与します。

- ① 学校教育を中心に教育が直面するさまざまな課題に適切に対応する高度な専門的知識を修得し、活用できる。
- ② 様々な教育現場において豊かな実践力と高度な指導力を備えた教育者となる。
- ③ 研究能力を高め、専門的知識に裏付けられた修士論文を作成できる。

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本教育学専攻は、修了認定・学位授与の基本方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、教育学分野、教育心理学分野、教科教育学・総合学習分野に関する専門的科目群を、深広な学識と研究能力を養えるように体系的に編成し、講義、演習等の教育方法を適切に実施し、実施された教育の評価を行います。

### （１） 教育内容

- ① 豊かな研究能力を養うため、教育学専攻の基本科目を配します。「教育学演習」、「教育心理学演習」、「障害児教育演習」、「日本語教育演習」、「教科教育演習」等が属します。
- ② 教育学分野の専門的科目群には、教育の本質と目的、内容と方法について教育学的に深めることができる科目を配置します。教育学的認識を深める科目として、「教育哲学特論」、「道徳教育特論」、「カリキュラム特論」、「教育方法学特論」、「臨床教育学特論」、「教育社会学特論」等の科目を置きます。また、幼児教育の専門知識を深める科目として、「幼児教育学特論」、「幼児教育方法学特論 A(基礎)」、「幼児教育方法学特論 B(レジャ・エミリア教育)」を置きます。
- ③ 教育心理学分野の専門科目群には、子どもの発達と学習について心理学的に深めることができる科目を配します。心理学的認識を深める科目として、「教育心理学特論」、「発達心理学特論」、「学校心理学特論」、「学校カウンセリング特論」等の科目を置きます。また、「生徒指導特論」、「障害児教育特論」等、教育心理学系の発展科目も配します。
- ④ 教科教育学・総合学習分野の専門科目群には、各教科及び総合学習について学際的に深めることができる科目を配します。教科の教育法を深める教科教育学分野では、「国語科教育特論」、「算数科教育特論」、「英語科教育特論」、「体育科教育特論」等を置きます。また、総合学習分野では、「総合学習特論」を置きます。さらに、「メディア教育特論」、「日本語教育特論」、「生涯福祉特論」、「ホリスティック教育特論」等、教育を学際的に広げ深める科目も配します。
- ⑤ 教育学分野、教育心理学分野、教科教育学・総合学習分野に関する高度な認識と豊かな教育研究能力を身に付けるために、「英書講読（教育学、教育心理学）」を開きます。
- ⑥ 専門的な学修と研究の集大成として、修士論文を作成します。そのための探究的な学びの授業として、特別研究を置きます。

### （２） 教育方法

- ① 幅広いかつ専門的な知識を修得するため、必修科目と選択必修科目をバランスよく設定し、院生が単位の修得に必要な学修時間を確保できるよう設定します。
- ② 教育学分野、教育心理学分野、教科教育学・総合学習分野のうち、一つの分野を選び、専門的に学修しますが、他の二つの分野を相補的に学修することによって、体系的に履修することができるようにします。
- ③ 研究能力を高めるため、各演習の授業においては、徹底した個別指導を行います。
- ④ 院生の主体的、探究的な学びを推進するため、アクティブ・ラーニングの方法を取り入れた授業を展開します。
- ⑤ 小学校教諭専修免許状、幼稚園教諭専修免許状、学校心理士資格を取得できるような教育課程を配列します。また、学部の授業科目を科目等履修生として履修することによって、日本語教員資格を取得できるようにします。

### （３） 教育評価

- ① 履修科目の成績評価として、GPA（グレード・ポイント・アベレージ）制度を活用します。院生が自らの学修成績を的確に把握し、より適正な履修計画を立てることができるように支援します。
- ② 修士論文の評価は、主査、副査によって行います。

## 入学者の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

教育学専攻では、学部における教育に関する一般的及び専門的教養の基礎の上に、教育学を教授し、深広な学識と研究能力を養うとともに、教育に関する高度な専門的知識を有する職業人の育成を目指します。

院生には、主体的、探求的な学びに向け、アクティブ・ラーニングの手法を取り入れた学びに積極的に参加することを求めています。また、教育に関する様々な科目について、学際的な履修を求めています。そのため、次のような人に入学してほしいと考えています。

- ① 教育に関する専門的教養を身に付けている人。
- ② 教育に関する高度な理論的・実践的研究に取り組む意欲を持った人。
- ③ 教育に関わる職業人を目指す意志を持つ人。

## 親和女子高等学校・親和中学校

現代の開かれたグローバル社会で活躍する人材を育成するため、確かな学力を基盤として、知識活用能力を養うとともに自ら問題を発見し解決する能力を養う。

「知」「徳」「体」のいずれも偏ることなくバランスの取れた人間形成を目指すため、以下を教育理念とする。

- (1) 校訓「誠実・堅忍不拔・忠恕温和」を体現し豊かな人間性を育む。
- (2) 広い視野と知識を持ち社会において主体的に活躍できる女性を育成する。
- (3) 他者を理解し、他者と協働して社会の課題解決に取り組む女性を育成する。

上記の理念に基づき、以下のように教育目標を設定した。

- (1) 確かな学力を身につけさせ、高い語学力、数理解理解力及び情報活用能力を養成する。
- (2) 自ら主体的に学び、問題発見と問題解決能力を養成する。
- (3) コミュニケーション能力を育成し、他者と協力して物事を達成する態度と能力を養成する。

## (2) 中期的な計画(教学・人事・施設・財務等)及び事業計画の進捗・達成状況

### ①第3次10年構想5ヵ年計画の検証

#### 神戸親和女子大学

### 1. 教育研究支援

#### (1) 教員の個人研究の促進と支援

- ①研究室の整備、研究費助成を行っている。
- ②在宅研究日を設け、週1日の研究専念時間の確保に努めている。
- ③外部資金に関する情報公開及び科研費申請にかかる学内説明会を実施し、外部資金獲得のための支援を実施している。

### 2. 学生支援

#### (1) 勉学支援

##### ①ラーニングコモンズの開設と展開

2016年3月、ラーニングコモンズを開設した。2018年度、2019年度は、1日延べ平均160人、最多300人の程度の利用者がいる。通常の自習利用の他、グループ予約として、学生主催の勉強会・発表準備・プレゼントレーニングの他、教員主催の勉強会、学科・各部署主催の催し等、100件弱の利用、また、各種セミナーや学科行事等にも利用されている。2020年度については、新型コロナウイルス感染拡大予防対策等の影響もあり、対面での企画は開催されず、個人学習の場の提供にとどまった。Zoom等を利用した遠隔窓口を開設した。2021年度は、学習教育総合センター(ラーニングコモンズ)主催の英語検定対策ゼミ(3級、準1級コース)、情報検索講座を、計54回実施した。授業利用や学生のグループ利用、学科・各部署の催しでも37件の利用があった。また、附属図書館の資格コーナーと連携を図り、公務員等資格対策の資料コーナーを新設した。

##### (2) 国内外のインターンシップの拡充

(国内) 大学経由について、11名が参加し、そのうち単位認定希望者は7名であった。就職ナビサイトを利用した参加人数は増加しているが、今年度も新型コロナウイルス感染症により、WEBを活用した実施形態に変更する企業が増えている。

(海外) 海外インターンシップについては、新型コロナウイルス感染症の影響から日本国外へ渡航すること自体が叶わず実施することができなかった。

##### (3) 奨学金制度の拡充

##### ① 学費支援

- ・学費支援制度は、免除・貸与ともに毎年選考を行い、執行をしている。
- ・授業料免除奨学金→当該年度の授業料を免除する。毎年約5名を採用している。

- ・授業料貸与奨学金→当該年度の授業料を貸与する。卒業後に貸与年数に応じて返還をしてもらう。  
毎年 10 名を採用している。
- ・2021 年度は、新型コロナウイルス感染症への対応として、神戸親和女子大学新型コロナウイルス感染症対応特別授業料減免を 2 度実施した。
- ②社会・文化・スポーツ分野及び学業における優秀な学生の表彰  
神戸親和女子大学奨励奨学金規程に基づき、社会・文化・スポーツ分野において優秀な成績を残した学生を表彰している。また、学長賞として、GPA の上位者及び、TOEIC スコア 700 点以上の者に対して、表彰を行っている。
- (4)特別に支援を必要とする学生の支援
  - ・障がいのある学生支援検討部会を学内に設置し、種々の問題に対応している
  - ・具体的には、対象学生への面談や事後支援、またメンバー間の定期的な情報共有の機会を行っている
- (5)就職支援
  - ①キャリア教育の充実  
2017 年度より低学年向けに『スタートアップ講座（以前は『基礎力養成講座』）』と名称を変更して学力向上等を目指した講座を再編したが、受講生の確保が難しく、2018 年度をもって座学の講座は終了した。2019 年度より、学科毎に社会で活躍する卒業生から、社会の現場の声を聞く機会として「職業講話」を実施し、低学年からの職業観の醸成に努めている。
  - ②留学生の就職支援の強化  
留学生対象の就職ガイダンスを国際・留学センターと連携して実施し、就職希望者への個別相談等の対応をした。

### 3. 経営戦略

- (1)入試戦略
  - ① アドミッションポリシーの明確化と周知徹底  
教学マネジメント会議でディプロマポリシー、カリキュラムポリシーとの整合性に留意しアドミッションポリシーを定め、Web ページや大学案内、入学試験要項等で受験生に周知徹底を図った。また、男女共学に合わせ再度アドミッションポリシーを見直し修正を行う
  - ② Web 出願及びオンライン入試(中国)  
2016 年度入試より全ての入試で Web 出願を実施している。予算に限りがあるが他大学と同様に入学手続きも Web で実施できるよう利便性を更に高めたい。また、コロナ禍の影響を鑑み、留学生入試は入国(中国)できない受験生を対象に一部ではあるが「オンライン入試」を執り行った。実施内容にやや課題は残るが 10 数名程度の出願者に対して「小論文」「面接」の受験が実施できた。入学にも繋がっている。
- (2)財務強化戦略
  - ① 3 つの目標の計画的達成（帰属収支差額・人件費比率・教育研究費比率）  
2016 年 5 月に「財政改善プロジェクト」を設置し、財政改善計画を策定した。これを見直した第 2 次財政改善計画においてはさらに事業活動収支差額比率等の改善に取り組んだ。  
2022 年度当初予算の事業活動収支差額比率は大学単独で△8.3%、人件費比率は 54.9%、教育研究費比率については 39.4%であり、13 年度（25.0%）との比較で 14.4%改善した。
  - ②事業と予算の「選択と集中」の実施  
予算編成については、理事長から示達される予算編成方針に基づき事業担当部署が予算申請書を作成し、学長によるヒアリング・事前相談を経て、10 年構想 5 ヶ年計画を達成するうえで重要と考えられる事業に重点配分するよう配慮し、予算原案としてまとめている。
  - ③教職員の経営感覚の醸成  
2016 年度から毎年度の職員研修において、法人より決算報告について説明するとともに、理事長講話、研修講演においても財政についてのテーマを取り上げ、大学執行部の教員に対しても職員研修において決算報告を説明しているが、2021 年度は職員研修の中で、決算報告は行われなかった。



## 4. 新規事業（2015 年～2018 年）

### （1）英語による授業の開設（2015 年～）

「英米文化概論」「英語の歴史」については、英語のみで授業を行っている。

### （2）カリフォルニア大学バークレー校との連携事業の実施（2015 年～）

海外教育研修の際には、実際に本学の学生が訪問し、授業の様子を見学しているが、2021 年度はコロナウイルス感染症のため、当該研修を実施できなかった。

## 5. 主な施設計画

### （1）新たな校地の確保（2016 年または 2017 年）

寄宿舍・倉庫・駐車場など多目的用途に使用可能な新たな校地を確保するため、神戸市北区の大学近隣地（大学北側）に 1,899 m<sup>2</sup>の土地（古家付）を購入した（2017 年 4 月購入）。そのうち 1,217 m<sup>2</sup>を 2018 年 1 月に教職員用駐車場（収容台数 18 台：アスファルト舗装）として改修し、現在使用している。

### （2）ラーニングコモンズ・カフェの新築（2015 年）

学生の自主的な学習を促進するため、グループ学習やディスカッションなど、さまざまな学習形態に対応したラーニングコモンズ棟（1 階：カフェ、2 階：ラーニングコモンズ等）が 2016 年 3 月に完成した。2018 年度設置された学習教育総合センターが主体となり、学習支援を行っている。

### （3）附属幼稚園の開設（2016 年）

2016 年 4 月附属親和幼稚園を三田市に開設した。

### （4）国際交流寮の新築（2018 年）

日本人学生と外国人留学生に係る居住環境を確保・整備し、学内での国際交流を推進する目的で新築した国際交流寮が 2018 年 8 月に完成している。

### （5）親和アリーナの新築（2020 年）

学内施設の充実と大学全体の活性化、並びに地域の子どもの健全育成や公開講座等スポーツを通じた地域貢献などを目的とした親和アリーナが 2020 年 9 月に完成している。

## 親和女子高等学校・親和中学校

## 1. 教育戦略

### （1）授業力の向上

授業評価委員会による授業改善に向けた具体的方策の検討を行い、授業改善の動きの加速に努めた。また休校期間中実施した、オンライン授業を契機に、新しい授業スタイルの工夫や技術向上を目指し、全教員で改善に取り組むことができた。

生徒による授業評価推移をみると、年を追うごとに意識の改善、取り組みの工夫は見られる。アクティブラーニング等研究委員会の取り組みとして、教員が目的を明確化して相互に授業を見学・講評しあうことに抵抗がなくなってきた。ややもすれば、他者に評価されることに消極的な教員にとっては、大きな前進である。

### （2）いじめ対応

保護者・生徒のコミュニケーションにより、いつも以上に生徒の状況把握に努め、いじめ等への対応についての研修を強化した。今年度は学校現場経験を持つ神戸親和女子大学の副学長に教員研修にて講演してもらい、いじめ問題への理解を深め、対応についても共通認識を持った。校内カウンセラーとも、各学年が定期的に連絡会議を持ち、情報共有に努めた。

### （3）グローバル化への対応

海外研修の充実を図り、各プログラムの目的、成果検証と整理、国際教育委員会等、組織的な運用に注力した。今後、チームとしての運用に向けて継続し改善を進める。

コロナ禍で海外へ渡航した研修が難しい状況でも、生徒の学びの充実に向けて、別の取り組み方法の開発と実施に取り組む必要がある。

#### (4) 高度情報化への対応

電子黒板やタブレット機器の活用等、ICT 学習環境の整備により、授業及び家庭学習での有効活用を推進した。定着してきたタブレット使用は、授業での利用のみならず、教員と生徒のコミュニケーションツールとしても有効活用できた。文部科学省の GIGA スクール構想を利用して、中学生全員分のタブレットを学校で購入したので、中高生全学年タブレットを持たせる環境を整備している。

#### (5) アクティブラーニング型授業・探究学習の推進

大学入試でも求められる「思考力・判断力・表現力」の養成と「主体性・多様性・協働性」を高める学びとして、アクティブラーニング型授業・探究学習の推進にさらに努めた。アクティブラーニング等研究委員会は次年度は、授業改善委員会に改編し、教員のさらなる授業力向上を目指す。次年度は、探究学習をさらに重視するために「探究推進部」を独立した部組織として設置し専任教員も 3 名配置する。外部団体とも連携し、探究授業の深化に努める。

#### (6) 生徒の学力向上のための方策の実行

生徒学力の二極化や個性の多様化に対応するための方策を検討し、中学 2 年生からの習熟度授業、高校 1 年生からの S コース細分化(SS, SL)を決定した。2022 年度からは、中学 2 年生の S コース分割 (Sa, Sb, Sb) が始まり、少人数制による教育効果が期待できる。

外部の予備校と連携した講座「ハイレベル講座」を放課後に開設した。中学 2 年生から高校 1 年生までの選抜者対象で、実施教科は英語と数学である。受講者は多く (各 30 名程度を基本)、生徒の評価も高い。ハイレベル講座に平行して、本校講師による「親和ゼミ」も英語と数学で開講した。両方とも通常の補習ではなく、普段授業を行っている教員以外の講師なので、生徒にとっては新鮮な感覚で取り組めている。

またコース検証委員会を編成し、卒業生や教員対象にアンケートを行い綿密な検証に取り組み、課題や改訂方針等の方向性を打ち出し、全教職員に提示した。課題は多岐に渡り、多くの改正が望まれるが、教員全体で情報共有できつつある意義は大きく、積極的に課題改善に挑んでいきたい。

#### (7) コースの特色化

学校グランドデザインに基づくコースの進路目標とその特色を明確にし、コース独自のプログラムを実施している。広報と連動し、コースの特長を広く訴求し、コースの求める生徒像に合致した生徒の受け入れ、教育課程の編成、生徒への指導を進めていく必要がある。

特に S コースは 3 回目の卒業生を送り出したが、コースの特色よりも学年の考え方を中心とする流れがあり、改善に向けて学校全体で取り組んでいく必要がある。

#### (8) 学習活動と部活動のあり方

文化・スポーツ庁が示す部活動ガイドラインに基づき、本校のめざす部活動におけるガイドラインを定めた。それにより、適正な部活動の活動基準を設け、部活動と学習活動の均衡が保てるようにしている。

特に本年度にスタートした強化クラブ及び出張等が頻繁な特定のクラブの指導に関して、教員の勤務の負担軽減の観点、並びに広報的視点から専門コーチや外部コーチによる指導を取り入れた。強化クラブ入部を目指して入学した生徒の成長を支援し、今までと同様に、学習と部活動のバランスをとりながら、生徒の進路実現をサポートする、親和らしい教育活動を継続していきたい。

## 2. 生徒募集

#### (1) 入学者の確保

中学 200 名、高等学校 50 名の確保を目標とし、広報活動及び教育活動の充実に取り組んだ。結果としては、中学は 143 名で前年度から 48 名減らし、過去最低の結果になった。高校は 36 名であった。目標には達しなかったが、入学生としては近年最高であった。新設「特進 B」の相乗効果と地道な広報活動の結果である。次年度はさらなる高校入学生を期待している。気になる点として、今年度は内部進学をせずに他校へ進学した生徒が 20 名に上った。この原因究明と対応策が急がれる。

#### (2) 魅力あるコース・カリキュラムの検討

生徒数の確保という短期的な課題も重要であるが、大学入学者選抜における生徒の多様性を評価する入試改革に呼応するコース編成、教育課程の編成について検討を行った。高校においては、2020 年 4 月に「国際コース」を開設したことに加え、2022 年 4 月に高大連携、

スポーツを軸とした新たなコース「高校特進B」の設置を決定し、高校募集の強化を更に進めた。

(3) イベントの充実

親和らしさをアピールし生徒募集に効果が高い文化祭・音楽会などの学校行事は、一般に公開するなどの発信に努める場所であったが、今年度もコロナ禍のため制限を余儀なくされた。また、サマーオープンスクールやプレテスト、入試相談会、入試説明会などの入学に直結するイベントについても、縮小・オンライン化で対処した。イベント規模の縮小と実施機会の個別対応、オンライン個別相談など新たな方策を中心に広報を展開した。

(4) 塾との連携強化

多数の受験生を抱える塾を頻繁に訪問し情報交換に努めた。今後も、塾からのアドバイスにも真摯に耳を傾け、入試改革・教育改革につなげていく。「アップ教育企画との連携によるハイレベル英語講座」を実施するに至った。塾の講座を校内で安価な受講料で受講できるので希望者は各学年多数の申込があった。

(5) スクールバスルートの拡大

2020年4月から神戸市の人口増加が顕著な西神ニュータウン方面からのバスルートを新規に開設した。2021年4月には、三田便で42名が、西神便で20名が利用を申し込み、2022年度には三田便が40名、西神便16名が申し込んだ。この2地区からの入学者は安定しており、募集上一定の効果はある。

### 3. 進路指導

(1) 難関大学への進学率向上

2022年春、Sコース3期目の卒業生を送り出した。この学年も高校2年生3年生とコロナ禍の影響を受け、生徒たちが思うような受験勉強に取り組めなかった期間もあったが、国公立大学はやや減少したが、難関私立大などの合格実績は例年より向上した。コロナ禍での社会不安もあってか、安定志向が強く、指定校推薦の希望者が増加した。有名私立大学の推薦枠を数多く利用できたのはよかったが、同時に優秀な生徒の一部が、最後まで粘って国公立大学に挑戦しない状況も見られた。

ここ数年の国公立大の受験者数の減少が続いており、今後、次年度に向け課題を整理し、改善すべき点は整理し、学校グランドデザインに示す進路目標に基づく進路計画の策定と具体的なアクションプランの実行、進路指導部と学年で情報共有をし、生徒の個々の目標実現に向けて、学校として戦略的な受験指導を考えていく必要がある。

(2) 受験指導の強化

模擬試験成績の分析と課題をもとに生徒の弱点を浮き彫りにし、学年の教科担当と連携し、弱点の補強に努める等の指導力の強化が必要である。担任と生徒の進路に関する意見交換や面談の実施を通じて、生徒のモチベーションの維持や生徒の興味関心を進路に実現させるなど、更なる高みへの導きなど、教員の受験指導力の向上も欠かせない。新しい大学入試の傾向や同行について、進路指導部が情報と具体的な指導法を提供し、勉強会を開催するなどの取り組みも必要となる。2021年度からは、今まで夏季休暇前に実施してきた進路指導部会を春休み中に実施し、学年との連携の強化をはかった。

また、難関大学対策を行う前提として、入試情報に加えて、教員の入試問題に関する知識も問われることになる。最新の出題傾向や適切な対策についての助言が行えるよう教材研究を行うため、教科が主体となり、共通テスト分析を行い、全教職員が情報共有できるような体制を整えた。生徒の受験に取り組むモチベーション、意識を高めることも重要で、予備校との連携によるハイレベル講座の実施は、そのきっかけとしたい。

(3) 学習支援環境の活用

2019年度からラーニングコモンズルームに放課後学生チューターを配置し、学習相談・進路相談の場としての活用を期待したが、積極的に活用できていない状況にある。今後は、個別最適化の視点から先生方の個別指導も絡めたフォローも検討する必要がある。

また、一方で家庭学習の在り方の検討に数多く取り組んだ。コロナの影響で、SNSを利用した家庭学習サポートシステムが数多く見られ、有効と思われるシステムについて、繰り返し説明会を実施し、学年に応じたものを取捨選択した。特に、大学入学共通テストで、全教科、読ませる問題文の量が格段に増加し、読解力向上に向けて「速読プログラム」に取り組むこ

とにした。週に数回、朝学習や終礼の時間を利用し取り組み、自宅学習を積極的に支援する体制を整えた。他にも教科指導を支えるアプリケーションも数多くあるが、経費が全て保護者負担となるため、しっかり見極めていく必要がある。

#### (4) 私立学校における合格実績

学校の合格実績は、次年度以降の生徒募集に直結することを改めて認識する必要がある。難関大学の合格実績は進学校としてのステイタスを維持するうえで必要であるが、同時に、それは、ごくスタンダードな指標として見られる関関同立大の合格者が安定していなければ成り立たないのも現実である。大学の評価は、有名企業への就職実績やブランドに左右されるものである。受験指導する側としては、保護者の意識にも呼応し、評価されている大学への進学実績の確保が求められ、両方の実績が並び立つことが私立学校進学校として評価されるという現実を踏まえる必要がある。例年通りではあるが、生徒が希望する進路を実現する一つとして、指定校推薦制度の活用の仕方、総合進学コースの評価基準の弾力化、成績が伸び悩む生徒への学習支援など検討する時期にきている。

## 4. 事業計画

### (1) 校舎整備

建物の老朽化、劣化が進む部分の改修について、資金収支の状況に照らし中長期工事計画を策定し、工事計画の再見直しを行った。2022 年度以降は、震災復興工事における借入金の返済が終了することにより、外壁改修の工事を 5 期に渡り計画していく。

### (2) 人件費適正化計画

収支差額の赤字の原因は、在籍生徒数の減少と年齢とともに上昇する教員の給与の支給基準にあることから、入学生の確保を目指す一方で、教員の賃金制度の改革を実行してきた。2022 年度からは新給与制度による賃金に完全移行する。今後は、人事評価を活用した給与制度の見直し等も検討していく必要がある。

### (3) 情報化に対応した環境整備

2016 年度に中学教室、2017 年度に高校教室に電子黒板を設置、特別教室も含めて、電子黒板の設置を完了した。また、2018 年度には高 1 学年にタブレットを導入し、大学入試改革への対応、あわせてラーニングコモンズルームの開設によるアクティブラーニング型授業の推進を進めている。タブレットについては、2020 年度の文部科学省の GIGA スクール構想の補助金を利用し、中学生全員分のタブレットを学校で購入し、生徒全員がタブレットを保持する環境を整えた。天候による警報休校の際や本校の中学入試・高校入試で生徒が登校しない自宅学習期間にも、タブレットを利用し、時間割通りの授業実施ができるように整備した。非常勤講師もオンライン授業に対応できる体制を整えた。個別保護者面談等でもオンラインの活用を進めていく。2021 年度には中学棟教室の PC の更新工事を行った。

### (4) 教員研修の実施

上記(3)に伴い、授業での ICT 機器の利用や活用についての研修に積極的に取り組んだ。特に、教科指導、学習指導、生徒指導等での有効な活用方法の研究や適したアプリケーションソフトの研究等、情報教育推進委員会、アクティブラーニング等研究委員会が中心となり進めた。職員会議後に研修会を実施し、授業力の向上等に努めている。

また、今後の少子化を見据え中学入試の動向や本校の入試レベルや課題について、大手塾から講師を招き研修会も実施した。

今後は、新カリキュラムや大学入試に関わる研修も積極的に取り組んでいく必要がある。

### (5) 海外研修プログラムの充実

英語 4 技能の向上、強まるグローバル化への対応の両面から、海外研修旅行を例年通り計画していたが、オックスフォード英語文化研修、ニュージーランド短期ホームステイ研修、メルボルン短期交換留学、カナダフィールドストーンキングスカレッジでの 1 年間の長期派遣留学、アジア圏での異文化探究研修はすべて中止となった。代替研修として、国内での語学研修や異文化探究研修を実施した。

## 1. 財政の方針と実行・成果

### (1) 財政の健全化

第3次財政改善計画を検証・修正し（2021年6月25日理事会承認）、第3次10年構想5か年計画に基づいて、次の財政基盤の強化の方策に取り組んだ。

#### 1) 財政基盤の強化の方策

##### ① 収入面

##### 1) 入試改革、教育改革による一層の学生・生徒の確保

##### 【大学】

- ア 国際文化学科の設置（2021年4月）
- イ 学部学科の名称変更とカリキュラム改革（2022年4月）
  - a) 発達教育学部→教育学部
  - b) ジュニアスポーツ教育学科→スポーツ教育学科
- ウ 学生確保推進プロジェクトの編成
  - a) 特別協定校の拡充
  - b) スポーツ特別協定校の拡充
- エ 他大学、企業との連携
- オ 22年度留学生入試はオンライン入試を実施（中国）

##### 【中学・高等学校】

- ア 中学2年からの習熟度授業、高校1年生からのSコース細分化（SS、SL）
- イ 中学2年からのSコース分割による少人数制教育の導入（22年度から）
- ウ 予備校との連携による「ハイレベル講座」（英語：中2・中3、数学：中3・高1）開設
- エ 帰国子女入試（オンライン入試）の実施
- オ 強化クラブの設定（バレーボール部）
- カ 英語4技能の向上（オンライン英会話の授業、イングリッシュルームの設置等）

##### 2) 外部資金の確保

##### ア 各補助金の確保

（国庫補助）

- a) 私立学校施設整備費補助金
  - b) 授業料等減免費交付金
  - c) 学校保健特別対策補助金
- （地方公共団体補助）
- d) 神戸市地域子育て支援拠点事業「ひろば型」事業費補助金
  - e) 神戸市ふらっとひろば北運営事務費
  - f) 神戸市私学振興助成金
  - g) 私立幼稚園預り保育推進事業補助
  - h) その他

##### イ 親和学園教育振興基金の戦略的、組織的募集

- a) 保護者及び同窓生対象の募金
- b) 企業及び篤志家対象の募金
- c) 教職員対象の募金

##### ② 支出面

##### 1) 支出構造の見直し

##### ア 人件費の抑制

教職員数の適正化、期末手当・入試手当等の見直し、業務の合理化・効率化（業務のデジタル化を含む）

##### イ その他

施設管理計画、委託・派遣業務、スクールバス運行の見直し  
経費削減に向けての教職員の意識改革

以上のように財政改善に取り組んできたが 2021 年度において下記の状況となった。

- ① 事業活動収支差額比率  
「学園全体：△8.4%（前年度△1.4%）」「大学単独：△11.7%（前年度△2.3%）」
- ② 人件費比率  
「学園全体：67.0%（前年度 60.6%）」「大学単独：61.5%（前年度 52.6%）」
- ③ 教育研究経費比率  
「学園全体：33.0%（前年度 31.9%）」「大学単独：38.3%（前年度 36.6%）」
- ④ 人件費（退職金を除く）  
「学園全体で 2017 年度比 105 百万円減」

## （2）財政状況の周知徹底及び認識の共有

学内回覧システム（SCOM）を活用した「理事長からのメッセージ」により、財政状況及び財政健全化の方針の周知徹底及び認識の共有を図った。

## 2. 人事の方針と実行・成果

### （1）人事計画の厳密な履行

#### 1) 求める教職員像の明確化及び採用・昇格手続きの見える化

##### ①求める教職員像の明確化

第3次 10 年構想 5 ヶ年計画（2 年目）に基づいて、求める教職員像を明確化した。

（大学）

規程に基づき、求める教職員像を明確化した。

- 1) 2014 年度に大学教員選考基準を施行し、教授・准教授・講師等の採用及び昇任に関する基準を定めた。選考基準を制定して以来、この基準に従って教員採用・昇任を行い、人事の公平性を保っている。（「神戸親和女子大学教員選考基準（平成 26 年 3 月制定）」）
- 2) 2018 年度に規程の改正を行い、副学長に教員だけではなく職員もなることができるようにした。職員の副学長は、実現していないが、現在、職員が学長補佐に任命されている。（「神戸親和女子大学副学長及び特命副学長候補者選考に関する規程（平成 17 年 4 月制定）」及び「神戸親和女子大学学長補佐規程（平成 24 年 6 月制定）」）
- 3) 2017 年 3 月に学校教育法改訂に基づき、「学長選任規則」を制定した。この規則の制定により、法人（理事会）が責任をもって学長を選考する規程が整備された。現在の学長は、この規程によって選考された。（「学校法人親和学園神戸親和女子大学学長選任規則（平成 29 年 3 月制定）」）

（高中）

社会の変化に対応するために、教員組織を機能によって分類化し、その役割、責任及び処遇を明確にするため、次の 4 つの職能に区分するとともに、これに対応する給与制度改革を完成させた。

- ・管理職（M）
- ・一般職（G 3）
- ・一般職（G 2）
- ・一般職（G 1）

##### ②採用・昇格手続きの見える化

第3次 10 年構想 5 ヶ年計画（2 年目）に基づいて、採用・昇格手続きを見える化した。

（大学教員）

- 1) 「神戸親和女子大学教員人事委員会規程（平成 21 年 3 月制定）」に基づき、採用・昇格手続きを行った。

（高中教員）

- 1) 「親和女子高等学校・親和中学校教育職員人事委員会規程（平成 21 年 12 月制定）」に基づき、採用・昇格手続きを行った。
- 2) 2021 年度に「教育職員採用選考基準及び手続に関する内規」を改正し、採用の適正化と透明化を図った。

- ・求める教員像の見直しと明確化
- ・採用手続の手順の見直し

(事務職員)

- 1) 「学校法人親和学園事務職員人事委員会規程（平成 27 年 2 月制定）」に基づき、採用・昇格手続を行った。

## (2) 育成方針

教職員の資質向上のために、第 3 次 10 年構想 5 ヶ年計画（2 年目）に基づいて、次の方策に取り組んだ。

- 1) 社会のデジタル化を念頭においた F D 研修及び S D 研修の計画的な遂行。
- 2) 組織の構造改革による、人事の効率化。
- 3) 設置学校間の教職員の交流の促進。
- 4) 教職員の資質向上のための助成制度の継続。
- 5) タスク型の人材多様性を念頭においた採用。

以上、2021 年度においても引き続き第 3 次 10 年構想 5 ヶ年計画を厳密に履行した。

## ②2021 年度事業計画の進捗・達成状況

### 神戸親和女子大学

## 1. 教務関係

- (1) 共通教育カリキュラム改革…科目の統廃合およびカテゴリの整理、ICT 基礎 I・II の必修化等
- (2) 成績評価基準の制定
- (3) キャップ制緩和の制定…前年度 G P A 3.2 以上の場合、履修登録の上限を 50→56 単位未満に緩和
- (4) 教員採用試験対策セミナーの実施
- (5) 幼稚園・保育士採用試験対策セミナーの実施
- (6) 教員免許状更新講習の実施

## 2. 国際交流関係

- (1) 海外の大学、他教育機関との交流  
ホーチミン市師範大学から 2 名の交換留学生の受け入れを予定していたが、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響により 1 名は辞退、もう 1 名は日本に入学することはできなかったが 1 年間オンラインで授業に参加した。
- (2) 海外研修・留学  
2021 年度海外研修も前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大により全て中止。代替策として海外研修科目「海外英語研修」の研修機関であるトロント大学 SCS 提供のオンライン英語プログラム「English for Effective Communication」（単位配当なし）、また本学協定大学であるソウル女子大学提供の「オンライン短期集中韓国語プログラム」（単位配当なし）を実施し、英語プログラムは 2 名、韓国語プログラムは 4 名が参加した。
- (3) 外国人留学生
  - ①新入学の留学生に学生生活指導実施（4 月および日本入国時）
  - ②2022 年度は新型コロナウイルス感染症拡大により外国人留学生に大きな影響を与えた。中国からの 2022 年度入学の留学生（総合文化学科 5 名、心理学科 5 名、児童教育学科 3 名、大学院教育学専攻 4 名、科目等履修生（3+1 と 3+3）2 名）と 2021 年度入学の留学生（国際文化学科 2 年生 1 名、4 年生 2 名、大学院教育学専攻 3 名、科目等履修生（3+1）4 名）は、入国制限措置が取られた時点で入国。それまではオンライン授業を提供する。

### 3. 地域交流・子育て支援関係

#### (1) 公開講座

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、春学期・秋学期ともにオンライン講座を中心とした実施となった。

#### (2) 地域交流

##### ① 地域交流プログラム

2020 年度に続き、2021 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんどのプログラムが中止となる中、毎年 1,000 人規模の動員がある「第 14 回 キッズオープンキャンパス」は、コロナが落ち着いた 2021 年 11 月 20 日（土）に、感染症拡大予防対策のため、予約制、午前・午後の二部完全入替制で開催した。参加学生約 100 名は 5 月エントリーから準備を進め、当初約 700 名の応募の中、抽選により 400 名（第 1 部 200 名、第 2 部 200 名）の来場者を迎え実施した。

##### ② KIDS スポーツクラブ

KIDS スポーツ教室では、各クラブ生が小・中学生または高校生を対象に、スポーツ指導を通じて交流を深めて来たが、2021 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんど活動ができなかった。

##### ③ 神戸市北区との協力プログラム

「きたきたまつり」はじめ、ほとんどのイベントが 2020 年度に続き、2021 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。

##### ④ ふれあい喫茶

高齢者の閉じこもり予防として、社会福祉法人神戸市社会福祉協議会と連携して、毎月第 1 水曜日に「ふれあい喫茶」を開催して来た。2021 年度は第 1 水曜日 9 回（5・6・1 月を除く）を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、4・7・8・10・12 月の 5 回開催に留まった。

##### ⑤ 大学コンソーシアムひょうご神戸主催「キッズフェスティバル 2021」

2021 年も新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、「キッズフェスティバル」は、対面開催に加え YouTube による動画配信を行った。対面開催（6 大学 8 団体）については、大幅に規模を縮小、午前午後の 2 部制とし、マスク、消毒、3 密等の対策を徹底して開催した。YouTube による動画配信（11 大学 13 団体）は、去年の経験を活かし、より充実した内容となった。

#### (3) 学生ボランティア

##### ① 学生ボランティア

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響でほとんど活動できなかった。限られた活動はあったものの、厳しいコロナ対策の中での活動となった。

##### ② 東北被災者支援ボランティア

ユネスコクラブを中心に年 2 回（8 月と 3 月）に宮城県仙台を拠点にボランティア活動が続けて来た。2021 年度は、2020 年度に続き新型コロナウイルス感染症の影響で、Zoom による交流会や児童館等へのおもちゃの寄贈が続けている。

#### (4) 子育て支援ひろば『すくすく』

2007 年 1 月に本学と神戸市が連携して開設した「子育て支援ひろば『すくすく』」も 13 年以上経ち、地域のみなさまに支えられ、2021 年 3 月 26 日には、延べ 60,000 人目の親子（保護者 27,128 人 子ども 32,872 人）にきていただいた。学生ボランティアも延べ 10,000 人を超え、コロナ禍でも可能な限りの活動を行っている。

2021 年度は、大規模なイベントは中止したが、「神戸市地域子育て支援センター北」、「おやこふらっとひろば北」と連携した離乳食セミナーや、同志社大学赤ちゃん学センターと連携した子どもの聞こえに関する講習など、利用者のニーズに即した講座を行った。

#### (5) 大学コンソーシアムひょうご神戸の学生交流委員会

2017 年度から引き続き委員長校を務めた。副委員長校の甲南大学と 2 大学が中心となり、学生交流委員会の開催や学生プロジェクト「キッズフェスティバル」、学生ボランティアの 2 事業を実施した。学生プロジェクトでは「キッズフェスティバル」の実施をリーダー校として担った。



## 4. 学習教育総合センター関係

### (図書館)

- (1) 年間の開館日数は 276 日、入館者数は 33,736 人、貸出冊数・貸出人数は 4,849 冊・2,334 人であった。
- (2) 資料は、図書・製本雑誌・視聴覚資料 計 1,623 件を受け入れた。
- (3) 学術情報の提供としては、当館からの依頼（当館利用者の他館資料利用依頼。照会を含む）74 件、他館からの受付 444 件の処理を行った。また入手可能な資料はできるだけ購入して当館利用者に提供した。
- (4) 研究成果の保存と公開促進のため、本学紀要論文を刊行後速やかに本学リポジトリで公開した。
- (5) 環境整備としては、利用者が資料を探しやすくするため、引き続き書架の配架調整を行った。また蔵書点検で複数回不明だった資料や、重複資料・破損資料などの除籍を学習教育総合センター運営委員会の了承を得て行い、配架スペースの確保に努めた。なお閲覧席は感染症対策のため席数を制限して提供した。
- (6) 広報・利用促進活動としては、開館期間中は毎月テーマを選定して展示を行い、ホームページでも発信をした。また利用者教育として、感染症対策に留意しながら、全 1 年次生に対し必修科目「基礎演習」内で図書館ツアーを行い、主に 3・4 年次生対象の「文献情報検索講座」では 15 ゼミ 196 名に説明を行った。

### (情報処理教育・IT サポート)

- (1) 2021 年度入学生より、PC 必携となった。そのため、必携化オリエンテーションを全 2021 年度生に、実施した。内容は、パソコンを必携する目的、学内での利用ルール、学内ネットワークへの接続など。
- (2) 遠隔形式・対面形式に関わらず、全授業において教材・資料や課題、提出物のデジタル化を進める大学方針の基、教員・学生のサポートを行った。
- (3) PC 必携化および、教材・資料、課題のデジタル化への対応のため、学内のネットワーク増強計画第 1 期を実施した。これにより、学内 Wifi のアクセスポイントが増え、授業時に必携 PC を円滑に活用することが可能となった。
- (4) 資格対策講座（業者委託）  
春学期は、「MOS (Excel) 講座」を対面形式で実施。受講生 16 名中、13 名受験し、合格。秋学期は、コロナ感染拡大の影響で、基本対面としながら、ハイブリッド形式で IT パスポート講座」をおこなった。受講生は、16 名。
- (5) ICT 活用を継続・推進するための情報環境整備【継続】
  - ・遠隔授業において、Microsoft 365 の Teams を全授業で活用できるよう整備。
  - ・Office 無料配布を実施Microsoft 社の制度を利用し、学生の個人 PC への Office の無料の配布を行っている。

### (ラーニングコモンズ)

- ・英語検定対策ゼミ（3 級、準 1 級コース）春学期は、毎週 3 回、秋学期は、毎週 1 回、情報検索講座、春学期 2 回、秋学期 3 回実施。
- ・新型コロナ感染拡大予防のため、座席数を、春学期は 2/3、秋学期からは 3/4 (60 席) とし、更にパーティションを配備した。
- ・年間開室 312 日 (内、対面窓口 162 日、Zoom 窓口 74 日) 開館。

## 5. 国際教育研究センター

### (1) 国際教育フォーラム

2021 年度の国際教育フォーラムは新型コロナウイルス感染症の拡大により開催されなかった。

### (2) レッジョ・エミリア E-Learning スタディプログラム

イタリアのレッジョ・エミリア市の乳幼児教育の生活・哲学と実践について学びを深めるためのプログラムとして、2021 年 10 月～2022 年 2 月まで全 6 回、レッジョ・エミリア E-Learning スタディプログラムを開催した。本学学生 31 名、教員 14 名、附属園 3 園が参加し、

レッジョ・エミリア市の教育専門家によるウェビナー(ZOOM)や本学におけるアトリエ体験、イタリア食文化体験等を行った。

(3) 英検準1級オンライン勉強会

国際教育研究センターが中心となり、夏休み、春休み期間を活用し、2021年8月(週2回)、2022年2月(週1回)の2回に渡り本学学生を対象とした英検準1級合格のためのオンライン勉強会を実施した。Teamsを用いて互いに不明な点を確認し合いながら学生間で教え合うことで英語の理解を深めることを主たる目的とした勉強会で、合計9名の学生が参加した。

(4) 国際教育研究センター紀要

2020年度に国際教育研究センター紀要第6号を発刊。次号は2022年度に発刊予定。

## 6. 研究成果

- (1) 「神戸親和女子大学 研究論叢 第55号」
- (2) 「神戸親和女子大学大学院研究紀要 第18号」
- (3) 「児童教育学研究 第41号」
- (4) 「言語文化研究 第16号」
- (5) 「福祉臨床学科紀要 第19号」
- (6) 「ジュニアスポーツ教育学科紀要 8号」
- (7) 「心理相談研究紀要 第20号」
- (8) 「教職課程・実習支援センター研究年報 第5号」

## 7. 入試関係

(1) 2022年度の入試結果

2022年度入試では、昨年の結果が過去に例のないものであったことから、415名であった定員を385名に減らして実施したが、引き続き少子化とコロナ禍による影響を大きく受け、入学者数が約250名と昨年をさらに下回る結果となった。

2022年度入試では、学生確保に向け次の2点で入試方法の見直し等を行った。1点目は試験機会の増加で、AO入試3回(昨年2回)、スポーツ入試4回(昨年2回)、一般入試+スポーツ活動利用4回(昨年1回)、留学生入試3回(昨年2回)と7回増やした。2点目は試験種別の変更である。国の先導により昨年度大きく入試方法が変更され、本学でも学校長の推薦による「公募制推薦入試」を「総合型選抜」に変更したが、他大学の動向や高校側の意見を取り入れることにより、わずか1年の変更となるが、元の「学校推薦型選抜」に戻して実施した。以下に選抜方法ごと、学科ごとの入試結果をまとめる。

専願入試での入学者は173(学園内含む)名で、昨年の178名と比べマイナス6名となった(2018年度160名、2019年度158名、2020年度206名、2021年度178名)。変化の特徴は、AO入試とスポーツ入試は増加傾向だが、指定校入試はやや減少、協定校入試は大きく減少した。しかし、過去4年間の入学者平均が175名であることから、2022年度入学者179名は大きく落ち込んだ状況ではないと評価できる。専願入試を学科別にみると、国際文化学科は減少、心理学科は増加維持、児童教育学科はやや減少、スポーツ教育学科は現状維持であった。

併願入試の「学校推薦型選抜」と「一般選抜」とともに昨年に引き続き出願者が減少し、入学者は近年の最少となった。「学校推薦型」の入学者数は77名→71名→79名→昨年31名→今年25名であった。「一般選抜前期・大学共通テスト利用型選抜(前期)」の入学者数は90名→63名→70名→昨年35名→今年22名と減少した。また、一般選抜の中期入試、後期入試についても入学者数は2～4名に留まり、併願入試において入学者は、この5年間で4分の1に減少する結果となった。

学科別入学者数については、国際文化学科30名(昨年40名、定員60名)、心理学科42名(昨年49名、定員60名)、児童教育学科115名(昨年154名、定員195名)スポーツ教育学科56名(昨年50名、定員70名)となり、2022年度も全学科で定員を充足できなかった。特に国際文化学科と児童教育学科の落ち込みが大であった。

このような結果となった考えられる要因は、①少子化により、大きな規模の大学が学生確保のために合格ラインを下げたこと、②コロナ禍の影響により自宅から通える大学を受験し県境を越えた受験が減少したこと、③一般入試の受験者が本学を併願先に選ばなくなったことの3点が考えられる。ともかく本学としては全ての学科において、「選ばれる大学」になるために、高校生にわかりやすい学科の特徴や強みを打ち出すことが求められる。

なお、近隣女子大学では、武庫川女子大学の人気が高くなっており、強く大きい大学がより一層強く大きくなっていく傾向がみられる。少子化とコロナ禍の影響を強く受けている近隣女子大学もあり、本学を含めしっかり対策を取らねばならない。

また、大学院入試では、心理臨床学専攻の志願者11名・入学者8名（昨年10名・7名）、教育学専攻の志願者12名・入学者9名（昨年17名・9名）という結果で、教育学専攻がやや減少した。

## (2) オープンキャンパス

2021年度も強くコロナ感染を意識して行うオープンキャンパス（以後、OC）となった。しかし、受験生に実際の大学の雰囲気を感じてもらい貴重かつ重要な機会であるため、「学生確保プロジェクト」の意見を反映して、①熱意を伝えるため対面で実施、②来学者の都合に配慮して午前と午後の二部制により実施、③わかりやすさを重視して入試対策を本学教員で実施、④直接本学の学生と触れ合ってもらうためShinwamilyを中心に本学生による案内や説明を実施、⑤大学の明るく元気な姿を見てもらうため部活動の練習を併せて実施するなど、様々な工夫を加えて開催した。なお、三宮からのバスは運行したが、コロナ禍の状況もあり、昨年に引き続き、オープニングの内容等にある程度の制約を加えたこと、参加は事前予約制による参加許可（高3生、保護者に限定せず）とした。

来場者数については、初めて3月に実施したOCは参加者211名（生徒110名、保護者等101名）となり、ある程度の感触を得た。その後の参加者は次の通り。

6月177名（生徒89名、保護者等88名）、7月202名（生徒107名、保護者等95名）、

8月前348名（生徒181名、保護者等167名）、8月後256名（生徒147名、保護者等109名）、9月99名（生徒53名、保護者等46名）、12月23名（生徒20名、保護者等3名）

次年度に向けて、さらに多くの高校生に本学の良さを知ってもらうため、年間で2回増やして行うこととし、3月を皮切りに合計9回の実施を計画している。各学科の協力を得て、中身の一層充実したOCの実施が求められる。

## 8. 就職関係

(1) 教職課程・実習支援センターでは、教職をめざす学生への実習指導や、キャリアセンターが行う講座以外に教員採用試験対策セミナーを3年次より実施し、教職への就職を支援している。公立教員採用試験合格者数は小学校54名、中学校(国)1名、中学校(保体)1名、特別支援学校6名であった。公立幼稚園教諭・保育教諭・保育士採用試験合格者数は12名であり、私立を含む幼稚園・保育園・認定こども園・児童福祉施設に就職をした学生は121名で99%就職先が決定した。

(2) キャリアセンターでは、一般企業や公務員、福祉施設を希望する学生に対してもガイダンスや多くの行事・講座において就職活動をサポートしている。個人面談等、きめ細かいサポートを行うことに特に力を注いでおり、教採・教育関係への就職を除いた一般企業等への就職状況は、業種別に、卸小売業、福祉関連施設、スポーツ施設、情報通信業への就職率がここ数年上位となっている。

(3) 厚生労働省と文部科学省の共同調査(2022年2月1日現在)による2021年度「大学等卒業予定者の就職内定状況調査」では、大学生の内定率は89.7%、新型コロナウイルスの影響もあったが、前年度同期より0.7ポイント上がっている。私立大学女子学生における内定率も90.8%であり前年度同期より0.9ポイント上がっている。本学の2021年度の全体の就職率は98.9%となっている(2022年5月1日現在)。

## 9. 奨学金関係

(1) 本学独自の奨学金制度を設けており、2021年度の実績は下表のとおりである。

|                   |                     | (金額単位；千円) |            |
|-------------------|---------------------|-----------|------------|
| 奨 学 金 制 度 の 種 類 等 |                     | 対象人数      | 給付・貸与金額    |
| 一般学生<br>を対象       | 授業料免除               | 4         | 3,200      |
|                   | 貸与奨学金・福祉特別貸与奨学金     | 4         | (注1) 2,905 |
|                   | 植田奨学金               | 0         | 0          |
|                   | 学習奨励・スポーツ奨励         | 38        | 12,435     |
|                   | 奨励奨学金、学長賞           | 24        | 1,320      |
|                   | 姉妹免除、沖縄奨学金          | 12        | 1,480      |
|                   | 小計                  | 82        | 21,340     |
| 留学生<br>を対象        | 所定の学習要件を充足した留学生に対する |           |            |
|                   | 授業料減免(大学院生)         | 30        | 3,000      |
|                   | 授業料減免(学部生)          | 63        | 15,570     |
|                   | 給付奨学金(大学院生)         | 27        | 5,184      |
|                   | 給付奨学金(学部生)          | 79        | 15,660     |
|                   | 住宅補助金               | 16        | 3,840      |
|                   | 小計                  | 215       | 43,254     |
| 総 合 計             |                     | 297       | 64,594     |

注(1)2022年3月31日現在の貸与残高は35,847千円

(2)日本学生支援機構の奨学金については、貸与奨学金（無利子、有利子）および給付奨学金あわせて1,092名（延べ人数）が受給した。

## 10. 保健室関係

### (1) 定期健康診断

① 受診者数 学生 1,515名 教職員 202名

② 受診率 学生 98.3% 教職員 94.8%

### (2) 学生相談

① 精神科校医、カウンセラー4名が心理相談に対応

② 学生相談室のPRを目的に、年1回（10月）イベントの実施

③ 学生相談室便りの発行

### (3) 保健室における応急対応

年間利用者数 695名

### (4) 教職員対象にインフルエンザ予防接種の集団接種実施

接種者数 76名

## 11. 課外教育活動関係

(1) 文化・学術・体育・ボランティア活動や大学祭など、多岐にわたる学生の自主的活動については、学生生活における自立性・社会性の育成、学生相互の啓発等、人格形成上の教育効果を期待し、振興している。但し、2020年度に引き続き2021年度もコロナ禍による緊急事態宣言の発出等のため通学の制限により課外活動への参加学生が減少している。

(2) 課外活動団体競技では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で大会が中止となるケースも多くあった。その中でも各競技団体で代替試合などが開催されるようになった。

- ◆ 全国学生女子相撲選手権大会 － 相撲愛好会（古瀬愛恵） － 個人戦軽量級 優勝
- ◆ 全日本大学選手権大会出場 － バレーボール部 － ベスト16、ソフトボール部
- ◆ 西日本大学選手権大会出場 － ソフトボール部 － ベスト8
- ◆ 関西学生リーグ戦
  - 春季リーグ戦及び代替試合
    - ☆ ソフトボール部 － 1部 準優勝
    - ☆ バレーボール部 － （代替試合）関西大学女子トーナメント戦 優勝
    - ☆ サッカー部 － 2部 2位

- 秋季リーグ戦及び代替大会
  - ✧ ソフトボール部 - 1部 6位
  - ◆ バレーボール部 - 1部 準優勝
  - ◆ バスケットボール部 - 2部 5位
  - ◆ サッカー部 - 2部 3位
- ◆ その他の大会
  - バレーボール部
    - 関西大学バレーボール女子選手権大会 準優勝
    - 兵庫県バレーボール大学男女選手権大会 優勝
    - 全日本クラブカップ選手権兵庫県大会 優勝
  - バドミントン部
    - 令和3年度兵庫県バドミントン選手権大会
      - 女子シングルスB 準優勝
      - 女子ダブルスB 優勝
  - 相撲愛好会
    - 全日本女子相撲選手権大会（古瀬愛恵） ベスト8

## 12. 通信教育部

### (1) 入学者数及び科目等履修生在籍者数

#### ① 2021年度入学者数

|        | 4月入学 | 10月入学 |
|--------|------|-------|
| 児童教育学科 | 41   | 9     |
| 計      | 41   | 9     |

#### ② 科目等履修生在籍者数 255名

内訳：協定26大学126名、本学通学部50名、一般4月入学52名、履修証明プログラム1名、一般10月入学26名

### (2) スクーリングの開講

期間：2021年4月～2022年2月

（三宮サテライトキャンパスを閉鎖したため、2021年度より全科目について鈴蘭台キャンパスでの実施となった。2021年4月より新型コロナウイルス感染予防対策をとりながら、対面で行うスクーリングを実施したが、4月下旬から5月にかけては感染拡大及び緊急事態宣言発令により開講日程の延期および遠隔授業（Microsoft Teams、Zoomの利用）を実施した。6月以降は感染予防対策をとりながら、対面で行うスクーリングを再開した。教室滞在時間を短くするべく授業時間を1回90分から70分に短縮し、短縮分は課題等を課した。8月は受講者数が50名以上となる科目もあったため、遠隔授業（Microsoft Teams、Zoomの利用）を実施（一部の少人数の科目は対面授業で開講）した。9月以降は前掲の感染予防対策をとりながら対面授業を再開した。2022年2月は受講者数が多い科目について遠隔授業で開講した。）

開講日数：85日

開講科目数：延べ94科目

受講者数：延べ1,308名

### (3) 科目修了試験の実施

期間：2021年4月～2022年2月

（三宮サテライトキャンパス閉鎖により、2021年度は主として鈴蘭台キャンパスでの実施となり、月によっては岡山、又は広島、又は名古屋の学外会場でも実施した。新型コロナウイルス感染拡大及び緊急事態宣言発令により、2021年5月9日科目修了試験については「在宅試験」に変更し、受験者へ試験問題等を郵送し各自解答後に提出（郵送）する方法にして実施した。それ以外の日程については、スクーリングと同様の感染予防対策を講じながら、会場で実施した。）

実施回数：12回

受験者数：延べ3,030名

### 1 3. 大学評価関係

2021 年度、大学評価委員会のもと評価専門部会、全学内部質保証推進ワーキング・グループ、教学マネジメント会議等において検証し、1 年を通して点検・評価報告書や基礎データ調書の作成など準備を進め必要書類を整え大学基準協会に提出し、第 3 期の認証評価を受審した。9 月には、2 日間、オンライン形式での実地調査を受け、その結果、公益財団法人大学基準協会による 2021（令和 3）年度大学評価（認証評価）において、大学基準に適合しているとの認定を受けた。

また、昨年度に続き、I R 推進委員会を中心に、学修行動調査および満足度調査において、共通する調査項目を用い、学修行動・学修成果の把握をディプロマ・ポリシーで定める能力に結び付け、学生にフィードバックする取り組みと、卒業年次生にループリックにより身に着けた能力の調査を実施した。

### 1 4. 附属親和幼稚園

認定こども園として 2 年目を終え、新たな課題に直面することもあり全職員で考えを出し合いながら、解決方法を模索してきた。シフト勤務をしているので職員が一堂に会することが難しく、課題や情報を共有するためにも工夫が必要となってきた。午前保育、午後保育の担当者が変わることによる情報共有（特に体調、怪我、トラブルなどについて）の方法は今もベストを目指して模索中である。

コロナ対策に取り組みながら、環境構成、保育内容、行事の持ち方など工夫してきた。園児たちにはのびのびと自己発揮しながら遊べる環境づくりとして、近隣の公園の活用などを心がけ自然とのかかわり、友達と遊ぶ楽しさを感じられる体験を重ねてきた。

保育内容では継続的な活動として、年中、年長の縄跳び、コマ回しなどに取り組んできたことから、学年を超えて刺激を受け合い意欲につながっていった。また、今年度初めて、年長年中が異年齢でごっこ遊びに取り組んだ。それぞれができること、知っていることを教えあったり、刺激を受けあったりして生活全般においても関係性が豊かになってきた。

教員の資質向上につながる研修については親和 3 園での保育参加を基本とした交流研修会を持ち 3 園の違いから学びあう姿が見られ、自分の保育を見直す良い機会となった。継続希望も多く聞かれたので、今後も研修会の持ち方を工夫しながら資質向上につながる方法を工夫していきたいと考えている。

## 親和女子高等学校・親和中学校

### 1. 新規及び重点計画

#### (1) S コース改革

S コース改革は、この 1 年で大きく方向性が示された。2022 年度から中学では、2 年生から 2 クラスある S コースを 3 クラスに分割、少人数編成とし、上位クラスを Sa、その他の 2 クラスを Sb とする。理系強化を軸とし、探究学習でも理系に重点をおく。中学 3 年生では、米国への「サイエンスツアー」も計画している。この学年の S コースが高校生になる際、S サイエンスコースと S リベラルアーツコースに分け、志望別のハイレベルの授業を計画中である。

#### (2) 帰国子女入試の充実、海外入試の実施

中国（上海）とタイ（バンコク）の日本人学校 4 校と入試協定を締結している。これらの学校からの受験生には、優遇措置がある。海外帰国子女入試はオンライン対応を取っている。それによって、世界のどこからでも入試を行うことができる。本年度はスウェーデンからの中学受験生があり、入学につながった。学校ホームページの充実もあり、海外在住の子女への広報が徐々に定着してきたと言える。

#### (3) 強化クラブの設定

バレーボール部を強化クラブに指定した。高校ではバレーボールの大会等で好成績をあげた受験生にスポーツ奨励奨学金制度を整理し、スポーツ能力に長けた入学生確保に取り組んだ。

結果として、特進Bコースへの入学生は増加した。また、中学入学生にはスポーツ・芸術奨励奨学金制度（入学時のみ）を新設し、スポーツや芸術活動に秀でた受験生がプレゼン入試を通じて入学した。同じクラブチームに所属する小学生や中学生の受験が今後増えてくることに期待したい。

#### (4) 国際コースの充実

2020年度、国際コースは11名で発足した。コロナ禍で遅れていた中長期個人留学も今年度になって実施することができた。2021年度のコース生は3名で単独クラスは編成できなかった。それでも2名は既に留学中であり、残りの1名も夏から留学する。2022年度は7名で、これも単独クラスの編成は叶わなかった。個人留学に関しては、コロナの影響をあまり受けなくなっているため、本来の国際コースの成果を期待したい。

#### (5) 英語4技能の向上

英語4技能対策の一環として、タブレット端末により、高校1・2年にオンライン英会話の授業を行っている。校内での英語教育に注力するために、談話室の場所を改装し「イングリッシュルーム」を設置した。イングリッシュルームには、ネイティブ教員2名が常駐し、英語運用能力のさらなる向上を目指す生徒や帰国子女等の英語力維持に役立っている。

また、中学で取り組んでいる英会話(ECC委託事業)について、英検資格等の取得状況も検証し、評価する。

#### (6) 異文化探究研修

総合進学コースの特色あるプログラムとして、キャリア教育の充実及び国際理解・国際感覚の醸成を目的に、アジア圏の文化の探究、学校交流を行う「異文化探究研修」は今年度もコロナ禍のため中止した。代替国内研修は実施でき、多数の参加者があった。

#### (7) ラーニングコモンズルームの積極的な活用及び生徒の主体的な学びの推進

2019年4月、学園創立130周年記念事業（寄付事業）として、ラーニングコモンズルームを設置した。探究授業を中心に授業で積極的な活用を図った。また、生徒の調べ学習や自習室としての活用も定着している。海外の学校とのオンライン交流の場所としても頻繁に利用している。

#### (8) 学生チューターの配置

ラーニングコモンズルーム、個別自習室の開設に伴い、放課後の学習支援として卒業生による学生チューターを配置している。しかし、常駐しているチューターの稼働率は低調で、業務の成果検証は必要である。

#### (9) 英語ハイレベル講座の開講

2021年度から、経営会議で検討の結果、進路指導部が主体となり、中学生対象に英語ハイレベル講座の開講した。予備校の力を借り、目標や取り組み方を丁寧に説明し、多くの希望者から成績上位者を選抜し実施する。好評なため教科を増やし、数学でも実施を開始した。実施学年も高校2年生まで拡大する計画である。一方で、学力伸び悩みが課題となる生徒への学習支援のためには、「親和ゼミ」を開講し対策を講じた。

#### (10) 「探究」授業の充実

Sコースで実施していた「探究」授業を、大学入試改革に伴い、高等学校総合進学コースでも実施し、大学入試で求められる主体性・多様性・協働性への対応を図った。

例年、他の高校生も参加する発表会に参加し、生徒たちの取り組み方を検証させてきたが、残念ながら、今年度は校内実施となった。それでも、昨年まで見学した上級生の発表に感化された面もあり、生徒たちの発表力は伸びてきている。

次年度からは、「探究推進部」を専門部として設置し、さらに探究学習を発展させていく。特に「理数探究」に注力し、将来的には「スーパーサイエンスハイスクール」の文科省助成を目指している。

#### (11) 授業力の向上

例年、アクティブラーニング等研究委員会が主導し、教員の授業公開や研修会を実施し、新大学入試や新学習指導要領への対応を図り、外部の教育関係者に授業公開を行う「Shinwa Education Forum」を実施してきたが、今年度はコロナ禍により断念した。

生徒による授業評価は回数を1回減じて、タブレット利用した形式に変更し、授業の改善



を促し教員の授業力向上を進めた。

## 2. 教務関係

### (1) コース制・取り組み

- ・Sコース：講習（夏期・春期）、探究授業、文理選択（高2）
- ・総合進学コース：講習（希望制）・補習（一部指名）、文理選択（高2 理Ⅰ・理Ⅱ、文Ⅰ・文Ⅱ）、総合探究（高71～）
- ・高校特進コース：講習・補習、1時間増加単位（高1）、文理選択（高2 理Ⅰ・理Ⅱ、文Ⅰ・文Ⅱ）、総合探究（新規 高1～）
- ・国際コース：毎週、留学ガイダンスを実施

### (2) 教育実習生受入

事前学習や事後学習を時間数にカウントし、生徒に接する期間を縮小し、例年と同様の実習ができるよう、工夫対応した。

## 3. 国際理解・国際教育関係

- (1) オックスフォード大学英語・文化研修→新型コロナウイルス感染症により中止
- (2) メルボルン短期交換ホームステイ（提携校マックロバートソン高校との交換ホームステイ）派遣→新型コロナウイルス感染症により中止
- (3) ニュージーランドホームステイ研修（Sコース中3生 3月～4月 3週間の英語研修）新型コロナウイルス感染症により中止
- (4) カナダフィールドストーン校長期留学（1年）→新型コロナウイルス感染症により派遣中止
- (5) 異文化探究研修→新型コロナウイルス感染症により中止
- (6) エール大学学生によるアカペラコンサート・交流会→新型コロナウイルス感染症により中止
- (7) 東北師範大学附属中学の生徒受け入れ（2月）新型コロナウイルス感染症により中止

## 4. 研修旅行関係

- (1) 高2研修旅行 シンガポール・マレーシアの予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、行き先を北海道に変更し11月に実施。
- (2) 中3宿泊旅行 新型コロナウイルス感染症拡大により、実施時期を変更し12月に実施
- (3) スキー訓練 信州志賀高原 一ノ瀬スキー場 3月実施 新型コロナウイルス感染症により中止

## 5. 部活動（クラブ活動）

全校生の約55%が文化クラブ、約25%が体育クラブに所属し、中学生と高校生が一緒になって、部活動（クラブ活動）に取り組んだ。2021度は、コロナ禍により大会等は限定的であった。以下は主な活動成果である。

|       |                                                                                                                                                                                                       |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 器楽部   | 第20回 定期演奏会開催（12月）<br>兵庫県総合文化祭                                                                                                                                                                         |
| ギター部  | 全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール 出場<br>第45回ギター・マンドリン兵庫県大会 朝日新聞社賞                                                                                                                                                |
| コーラス部 | NHK 全国学校音楽コンクール兵庫県大会高等学校の部 銀賞<br>兵庫県合唱コンクール中学校同声の部 銀賞<br>兵庫県合唱コンクール高等学校の部 A 金賞<br>関西合唱コンクール高等学校の部 A 銀賞<br>MBS こども音楽コンクール中学校合唱部門デンタルプロ賞                                                                |
| 書道部   | 第45回全国高等学校総合文化祭（わかやま総文）書道部門 兵庫県代表<br>第45回兵庫県高等学校総合文化祭書道展 全国総文推薦賞<br>第54回兵庫県私学総連合会私学の書展 優秀校賞（高校）きくや筆本舗賞 書游賞<br>第40回国際高校生選抜書展 秀作賞（1名）入選（5名）<br>第21回宇野雪村賞全国書道展 奎星賞 新温泉町長賞<br>第37回みなぎの書道展 兵庫県議会議長賞 神戸新聞社賞 |



|         |                                                                                                                                                                         |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ハンドボール部 | 神戸市高等学校 1 部 4 位                                                                                                                                                         |
| バレーボール部 | (高校) 令和 3 年度 秋季リーグ戦 3 部 3 位<br>(中学) 令和 3 年度 神戸市私立中学校大会 優勝                                                                                                               |
| ソフトボール部 | (高校) 令和 3 年度 兵庫県高等学校総合体育大会代替大会 兼<br>令和 3 年度 兵庫県高等学校ソフトボール選手権大会 出場<br>(中学) 令和 3 年度 神戸市中学校選手権大会 出場                                                                        |
| バドミントン部 | 3 年度 兵庫県高等学校新人大会 個人の部 女子シングルス ベスト 4 (1 名)<br>第 41 回 灘区民バドミントン大会 女子ダブルス 1 部 優勝<br>第 53 回 神戸市中学校秋季大会 新人大会 女子団体・優勝<br>女子シングルス 3 位<br>第 34 回 神戸市中学校選手権大会 2 年女子ダブルス 優勝 (2 名) |

|      |                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 西村佳世 | ITF World Tennis Tour Juniors 兵庫国際ジュニア I シングルス ベスト 8<br>ITF World Tennis Tour Juniors 世界スーパージュニア シングルス 出場<br>全日本ジュニアテニス選手権 16 歳以下 シングルス 第 3 位<br>キープスマイリングツアー (プロ選手混在の一般大会) シングルス ベスト 4<br>全日本ジュニアテニス選手権 14 歳以下 ダブルス 出場<br>関西ジュニアテニス選手権 14 歳以下 ダブルス ベスト 4 |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

## 6. ボランティア関係

- |                      |           |
|----------------------|-----------|
| (1) ワークキャンプ (福祉体験学習) | → 中止      |
| (2) 市民救命士講習会         | → 中止      |
| (3) 募金活動             | → 校内のみで実施 |
| (4) 献血協力キャンペーン       | → 文化祭で実施  |
| (5) 青少年赤十字活動 (JRC)   | → 不参加     |
| (6) 保育体験             | → 中止      |
| (7) 看護介護体験           | → 中止      |
| (8) [灘区との協定]         | → 実施      |

## 7. 公開行事

- |         |                                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------|
| (1) 文化祭 | → 公開はせずに縮小実施。動画配信を行った。                                    |
| (2) 体育祭 | → 中 1 と高 3 の保護者のみ 1 家族 1 名に限定して参加可とした。                    |
| (3) 音楽会 | → 演奏者の保護者のみ 1 家族 1 名に限定して鑑賞可とし、演目ごとに入れ替え制として、座席等の消毒を個なった。 |

## 8. その他特別な活動

- |          |                                                  |
|----------|--------------------------------------------------|
| (1) 英語検定 | → 実施外部での個人受験を推奨                                  |
| (2) 芸術鑑賞 | 高校 2 年生 10 月 16 日 天満天神繁昌亭<br>中学生 1 月 16 日 狂言鑑賞教室 |

## 9. 進路指導

- (1) 総括
- 2022 年春の合格実績は下表のとおり (既卒者含む)。
- 2021 年度卒業生数は 182 名、そのうち国立大学進学者は 11 名 (前年度 11 名)、公立大学進学者は 9 名 (前年度 11 名)、関関同立大進学者 45 名 (前年度 32 名) であった。
- 大学入学共通テストの出願者は 137 名 (前年度 137 名) であった。
- 合格率で見ると、国公立出願者 60 名 (前年度 64 名)、合格者 21 名 (前年度 24 名) で合格率は 35% (前年度 37.5%)、関関同立大の出願者数は 221 名 (前年度 228 名)、合格者 88 名 (前年度 55 名) という結果であった。
- また、大学入学共通テストの平均点 (得点調整後) を比較してみると、900 点満点で、文系は全国平均点が 517.6 点、本校平均点は 517.9 点。理系は全国平均点 523.8 点、本校平均点は 505.1

点。理系は全国平均を下回る成績であったが、本人の希望進路実現に向けて、学年・進路指導部が相談・指導を行い、国公立への進学実績は大きく落ち込むことはなかった。とは言え、共通テストの平均点が全国平均に比べ低かったことは、対策等の徹底など課題を整理する必要がある。なお、神戸親和女子大学への進学者は、5名（前年度7名）であった。

(2) 2022 年度入試大学合格実績（含既卒者）

| 大 学 名          |              | 合格者数      |
|----------------|--------------|-----------|
| 国立大学           | 埼玉大学         | 1         |
|                | 東京学芸大学       | 1         |
|                | 京都工芸繊維大学     | 1         |
|                | 大阪教育大学       | 1         |
|                | 神戸大学         | 1         |
|                | 奈良教育大学       | 1         |
|                | 奈良女子大学       | 1         |
|                | 和歌山大学        | 1         |
|                | 鳥取大学         | 3         |
|                | 広島大学         | 1         |
|                | 徳島大学         | 2         |
|                | 高知大学         | 1         |
|                | 宮崎大学         | 1         |
|                | <b>国立大学計</b> | <b>16</b> |
| 公立大学           | 国際教養大学       | 1         |
|                | 京都市立芸術大学     | 1         |
|                | 京都府立大学       | 1         |
|                | 大阪公立大学       | 2         |
|                | 神戸市看護大学      | 1         |
|                | 兵庫県立大学       | 4         |
|                | 神戸市外国語大学     | 1         |
|                | 高知県立大学       | 1         |
|                | <b>公立大学計</b> | <b>12</b> |
| <b>国公立大学合計</b> |              | <b>28</b> |

|             |    |
|-------------|----|
| 専門学校・海外大学など |    |
| 医療専門学校      | 16 |
| 短期大学        | 4  |
| その他海外大学     |    |

| 大 学 名 |                | 合格者数       |
|-------|----------------|------------|
| 私立大学  | 神戸親和女子大学       | 8          |
|       | 同志社大学          | 22         |
|       | 立命館大学          | 13         |
|       | 関西大学           | 34         |
|       | 関西学院大学         | 34         |
|       | 順天堂大学          | 1          |
|       | 昭和女子大学         | 1          |
|       | 多摩美術大学         | 1          |
|       | 中央大学           | 1          |
|       | 東京女子大学         | 2          |
|       | 東京農業大学         | 5          |
|       | 東洋大学           | 1          |
|       | 日本大学           | 1          |
|       | 武蔵大学           | 1          |
| 私立大学  | 立教大学           | 1          |
|       | 早稲田大学          | 2          |
|       | 神奈川大学          | 1          |
|       | 京都薬科大学         | 4          |
|       | 神戸薬科大学         | 6          |
|       | 兵庫医療大学         | 8          |
|       | 大阪歯科大学         | 2          |
|       | 京都外国語大学        | 6          |
|       | 関西外国語大学        | 10         |
|       | 甲南女子大学         | 8          |
|       | 神戸女学院大学        | 28         |
|       | 武庫川女子大学        | 14         |
|       | 神戸女子大学         | 8          |
|       | 同志社女子大学        | 4          |
|       | 京都女子大学         | 8          |
|       | 近畿大学           | 33         |
|       | 甲南大学           | 19         |
|       | 龍谷大学           | 11         |
|       | 神戸学院大学         | 15         |
|       | 摂南大学           | 6          |
|       | 大和大学           | 5          |
|       | 兵庫大学           | 5          |
|       | 大阪工科大学         | 9          |
|       | 関西看護医療大学       | 2          |
|       | 岡山理科大学         | 5          |
|       | その他            | 42         |
|       | <b>私立大学等合計</b> | <b>387</b> |

- (3) 進路説明会等  
大学別説明会 対面では行わず、zoom で実施
- (4) キャリア教育等  
夢ナビライブ → 中止  
社会人講演会 → オンライン実施
- (5) 大学共通テストプレ（高3対象）

## 10. 保健衛生関係

- (1) 生徒健康診断の実施  
全校生徒対象 身体測定、聴力、X線、検尿、心電図、内科、眼科、耳鼻科、歯科
- (2) 教職員健康診断の実施 3月
- (3) 性教育講座の実施、保健に関する指導（中学生対象）
- (4) 職員研修 AED 市民救命士講習会の実施
- (5) ゆうルームでのカウンセリング（カウンセラー4名、相談員2名で対応）

## 11. 図書館

- (1) 図書購入（資料図書 軽図書 雑誌 AV資料）
- (2) 図書館報 「親和図書館」1回発行（読書感想文コンクール優秀作品特集号）
- (3) 図書案内 「図書館通信」中学生版・高校生版発行（図書委員会発行）  
「POPでBook」発行（図書委員会発行）
- (4) 図書館での授業（教科指導）
- (5) 図書館の資料を使った授業（探究）
- (6) 図書館内展示活動
- (7) 一般来訪者への案内 ミニミニオープンスクール、学校訪問者
- (8) 図書委員会活動  
「図書館通信」の発行、「POPでBook」の発行、読書会（中止）
- (9) 読書感想文コンクール
  - ・校内読書感想文コンクール（中1～高2）開催
  - ・兵庫県私立学校 SLA 読書感想文コンクールへの参加および作品審査

## 12. 生徒募集・入試結果

### (1) 中学入試結果

中学入試は、入試広報・出願・入試本番と、新型コロナウイルスの第6波の影響を受けたものとなりました。近畿二府四県での中学受験率は9.74%と前年より上昇したが、小学校6年卒業生数が4,000人近く減少しているため、中学受験者の絶対数は大幅に減少した。特に兵庫県の受験者は安全志向が目立ち、受験校・受験回数を厳選する傾向にあった。本校の延べ出願数は帰国子女特別入試1名を含み734名で前年度よりも122名減少した。

そのうち「英語資格入試」は、昨年度の9名から6名にやや減少した。英語塾等へのさらなる広報の必要性がある。「プレゼン入試」は昨年度の18名から17名とやや減少した。バレーボール・バドミントン・水泳等の特技を持った入学生の確保に貢献した。チャレンジ入試は確実に入学生を確保できる入試方法である傾向は今年度も続いている。

コース別に見ると、Sコースの入学生の人気はやはり高く、Sコースなら入学するという受験生の確保につながったと思われる。しかし、結果としては近年になく悪いものとなった。入学生は、昨年度の191名から143名に大幅に減少した。

[2022 年度中学入試結果]

|                |         | 志願者数<br>(名) | 受験者数<br>(名) | 合格者数(名) |             | 入学者数(名) |             |
|----------------|---------|-------------|-------------|---------|-------------|---------|-------------|
|                |         |             |             | S コース   | 総合進学<br>コース | S コース   | 総合進学<br>コース |
| 前期 I           | S コース   | 39          | 38          | 34      | 22          | 72      | 71          |
|                | 総合進学コース | 26          | 26          |         |             |         |             |
| 適性検査型<br>(前期Ⅱ) | S コース   | 129         | 127         | 115     | 24          |         |             |
|                | 総合進学コース | 24          | 24          |         |             |         |             |
| 算数 1 教科        | S コース   | 75          | 74          | 50      | 24          |         |             |
|                | 総合進学コース | 14          | 14          |         |             |         |             |
| 後期 I           | S コース   | 98          | 95          | 73      | 62          |         |             |
|                | 総合進学コース | 56          | 54          |         |             |         |             |
| 後期Ⅱ            | S コース   | 191         | 183         | 144     | 69          |         |             |
|                | 総合進学コース | 44          | 42          |         |             |         |             |
| 英語資格<br>入試     | S コース   | 2           | 2           | 0       | 6           |         |             |
|                | 総合進学コース | 4           | 4           |         |             |         |             |
| プレゼン入試         | 総合進学コース | 17          | 17          | 0       | 16          |         |             |
| チャレンジ入試        |         | 14          | 11          | 8       | 3           |         |             |
| 帰国子女特別入試       |         | 1           | 1           | 0       | 1           |         |             |
| 合 計            |         | 734         | 713         | 425     | 227         | 72      | 71          |

(2) 高校入試結果

2021 年度入試からは、高大接続によりスポーツ・教育系への進学を目指す「特進 B コース」を新たに開設し、従来の「特進コース B」と「国際コース」の 3 コース制を敷いた。「特進 B コース」の反響は大きく、初年度としてはまずまずの受験者数であった。「特進 A コース」も「特進 B コース」との相乗効果で受験者数を伸ばした。中学校・塾への認知度を高める広報にさらに注力する必要がある。「国際コース」は、今年度もコロナ禍のため、留学への見通しが不透明ということで出願者数を伸ばすことはできなかった。

[2022 年度高校入試結果]

|            | 受験者数 (名)   |    | 合格者数(名) | 入学者数(名)                                                |
|------------|------------|----|---------|--------------------------------------------------------|
| 高校 1 次入試   | 国際コース 専願   | 6  | 6       | 国際コース<br>7<br><br>特進 A コース<br>15<br><br>特進 B コース<br>17 |
|            | 国際コース 併願   | 10 | 10      |                                                        |
|            | 特進 A コース専願 | 10 | 10      |                                                        |
|            | 特進 A コース併願 | 24 | 24      |                                                        |
|            | 特進 B コース専願 | 17 | 17      |                                                        |
|            | 特進 B コース併願 | 2  | 2       |                                                        |
| 高校 1.5 次入試 | 国際コース      | 0  | 0       |                                                        |
|            | 特進コース      | 2  | 2       |                                                        |
| 高校 2 次入試   | 特進コース 専のみ  | 0  | 0       |                                                        |
| 帰国子女入試     | 特進 A コース専願 | 2  | 2       |                                                        |
| 合計受験者数     |            | 73 | 73      |                                                        |

(3) イベントの実施状況と実績等

- ① 中学・高校入試説明会実施 9 月 26 日 参加組数 中学＝131 組・高校＝16 組  
 中学入試説明会実施 11 月 21 日 参加組数 46 組  
 高校入試説明会 11 月 27 日、12 月 4 日、12 月 12 日 参加組数 26 組
- ② 中学・高校入試塾説明会 (三宮) 8 月 31 日
- ③ 一日学校見学会 定員 10 組で土曜日に複数回実施
- ④ サマーオープンスクール実施 8 月 1 日 参加組数 269 組

- ⑤ 適性検査型・算数1教科型入試問題を親和で体験してみよう」実施 9月13日  
 本校主催 受験生対象 参加者数 67名  
 ⑥ プレテスト実施 11月3日 本校主催 受験生対象 参加者数 延べ603名

### 1.3. 汲温会（同窓会）、育友会との連携

- (1) 汲温会主催の茶道・華道教室を実施（毎週水曜日 汲温会館茶室）
- (2) 汲温会会員の指導による茶道教室を実施  
 中学1年生対象 中学2年生対象 → ともに回数を減らして実施
- (3) メルボルン交換留学生の茶道教室を開催 → 交換留学中止により実施なし
- (4) 育友会 生徒活動支援（クラブ活動、文化鑑賞）
- (5) 育友会執行部との意見交換会を実施
- (6) 育友会奨学金の追加 コロナ禍で友國晴子先生記念奨学金への応募が多かったため、育友会から同額の奨学金支援をいただいた。
- (7) 汲温会から学校施設補助 次年度のイングリッシュルーム設備の補助にさせていただく。

## 施設等の状況

### 1. 主な施設の取得・改修又は処分の状況

#### 1) 主な施設の取得関係

##### ◇ 神戸親和女子大学

- ① 大学ネットワーク増強計画(第I期)工事 (金額：32,373千円)  
 ※ICT活用推進事業
- ② 大学教務システム(GAKUEN, UNIPA)ソフトウェア ※5年リース (金額：23,648千円)
- ③ 大学教務システム(GAKUEN, UNIPA)サーバー ※5年リース (金額：20,414千円)
- ④ 大学2021年夏教室(113、114、311)改修工事 (金額：4,686千円)  
 ※遠隔授業活用推進事業
- ⑤ 大学附属図書館玄関ホール吹付石綿除去工事(調査費含む) (金額：3,575千円)  
 ※防災機能等強化緊急特別推進事業
- ⑥ 大学クラブハウスエレベータ修理工事 (金額：2,002千円)
- ⑦ 大学玉結寮北館西側屋上防水補修工事 (金額：1,705千円)
- ⑧ 大学附属親和幼稚園職員室、保健室、控室改修工事 (金額：1,700千円)
- ⑨ 大学1号館階段棟屋上防水補修工事 (金額：1,369千円)
- ⑩ 大学子育て支援ひろば「すくすく」サウンドガーデン拡張工事 (金額：1,190千円)
- ⑪ 大学体育館天井材落下防止緊急対応工事 (金額：1,100千円)

##### ◇ 親和女子高等学校・親和中学校

- ① イングリッシュルーム設置工事 (金額：5,610千円)
- ② 中学棟多目的室系統空調機更新工事 (金額：4,180千円)
- ③ 中学棟普通教室PC機器更新工事 (金額：2,970千円)
- ④ 中学・高校棟普通教室無線LAN増設工事 (金額：7,700千円)
- ⑤ 図書館サーバー更新工事 (金額：1,749千円)

#### 2) 主な施設の処分関係

##### ◇ 神戸親和女子大学

- ① 親和幼稚園保育棟トイレ便座更新工事に伴う除却処分 ※一部除却  
 ・資産番号21850104-000のうち給排水衛生設備(一部)除却(建物) 取得額：239千円
- ② 親和幼稚園保育棟トイレ便座更新工事に伴う除却処分 ※一部除却  
 ・資産番号21950103-000のうち給排水衛生設備(一部)除却(建物) 取得額：69千円

- ③ 親和幼稚園電子ピアノ更新に伴う除却処分 ※全部除却  
・資産番号 21650039-000 幼稚園クラビノーバ CLP-330 2台 取得額： 155 千円
- ④ 4号館2階421教室AVシステム機器更新に伴う除却処分 ※全部除却  
・資産番号 21120042-000 プロジェクター(421教室)一式 取得額：1,208 千円
- ◇ 親和女子高等学校・親和中学校
- ① 中学棟2階多目的教室系統空調機更新工事に伴う除却処分  
・資産番号 19632007-000 の内空調機器設備(一部)の除却 取得額： 1,485 千円
- ② 高中教育研究用機器備品の内備忘価額「1円」入力による除却処分  
・資産番号 21030001-000 「傘立てオブリークアーバンC」全部除却 取得額： 639 千円